

資料 1

令和 4 年度 事業実績報告

(自) 令和 4 年 4 月 1 日

(至) 令和 5 年 3 月 3 1 日

社会福祉法人 茨城県社会福祉協議会

目 次

I	令和4年度事業報告	1
1	法人運営	5
2	委員会の開催	6
3	茨城県社会福祉大会の開催	8
4	広報・啓発	8
5	第5次茨城県地域福祉活動推進プランの進行管理	9
6	日常生活自立支援事業の実施	9
7	成年後見制度の推進	11
8	生活福祉資金等貸付事業	12
9	生活困窮者自立支援法への対応	16
10	県内避難者への支援	17
11	福祉施設等との連携による生活課題解決	17
12	福祉人材センターの運営	18
13	福祉・介護人材確保及び定着のための支援	21
14	はんどちゃん人づくり研修等事業の実施	23
15	修学資金等貸付事業の実施	25
16	地域福祉・ボランティアの推進	26
17	社会福祉施設との連携	40
18	評価機関との連携及び支援事業	43
19	茨城県運営適正化委員会事業	43
20	茨城わくわくセンター事業	48
21	全国・関東ブロック会議への参加	51
22	茨城県災害福祉支援ネットワーク事業	56
23	施設等職員緊急補充事業	57
24	災害ボランティアセンターへの応援職員の派遣	57

令和4年度事業報告

わが国では、人口減少・少子高齢化が急速に進み、社会構造そのものが変化中、老々介護や独居老人問題をはじめ、子どもの貧困や引きこもり、虐待や自殺、福祉サービスの担い手不足など、広範かつ多様な福祉課題が複雑化・深刻化している。

また、新型コロナウイルス感染症に関しても、前年度同様、感染拡大が続き、「第7波」を迎えた令和4年8月には、全国の1日当たりの新規陽性者数が26万人を超え、過去最多を記録した。「第8波」がピークに達した令和5年1月以降は、感染者数が大幅に減少し、同年3月13日から、新型コロナ対策としてのマスクの着用が、屋内・屋外を問わず個人の判断に委ねられることとなったほか、5月8日からは、感染症法上の位置付けを季節性インフルエンザと同等の「5類」に移行する方針が政府によって決定されたものの、未だ完全終息には至っていないのが現状である。

このような困難な状況の中、本会では、行政や市町村社会福祉協議会をはじめ、各社会福祉関係機関・団体等と連携を図りながら、「だれもが その人らしく 安心して暮らせる福祉社会の実現」を基本理念とする「第5次茨城県地域福祉活動推進プラン」に基づき、各種事業を展開した。

まず、令和2年3月25日から開始した新型コロナウイルス感染症の影響に伴う緊急小口資金等特例貸付は、令和4年9月末まで申請の受付を行った。この間、7万6千件を超える申請を受け、7万2千841件の貸付決定を行い、貸付決定額は、275億円を超える貸付となった。

次に、福祉事業所の従事者がその技術や能力を高めて就労を継続できるよう、多様な階層や分野に対応する研修事業を計画し、一年を通じてライブ配信や動画配信などのオンライン形式で実施した。受講者アンケートでは、対面ではないため物足りなさを感じるなどの意見があったが、勤務と研修との日程調整が比較的容易との意見もあり、受講者数は令和元年度を上回った。

次に、災害時福祉支援活動の充実、強化のため、チームリーダー養成及び災害派遣福祉チーム員(DWAT)登録のための研修会を開催した。

次に、成年後見制度の利用促進のため、新任担当者研修や地域ごとの検討会などを、リモート会議により開催した。

最後に、eスポーツには高齢者の認知機能の改善や孤立の解消の効果が期待できることから、新たな試みとして高齢者を対象とするeスポーツの体験会を開催した。

1 支え合う福祉（住民参加と福祉コミュニティづくりの推進）

（1）住民参加によるまちづくりの支援

① 市町村社協への支援

市町村社協を支援するために、経理担当研修会や労務担当研修会等を開催し、市町村社協職員の専門性の向上に努めた。

② はんどちゃんネットワーク運動の推進

住民が支え合い、安心して暮らすことができる福祉のまちづくりを進めるために、ふれあい・いきいきサロンを通じた地域の活動を応援した他、サロン活動実践事例集を作成し運動の啓発を行った。

③ 福祉教育・学習の推進

地域社会、学校及び家庭が連携し、子どもたちが自らの生活する地域の課題発見と課題解決のための学びを深め、実践できる環境作りを目指し、教職員や市町村社協職員、関係団体、教育・行政関係者等42人の参加により、「福祉教育推進セミナー」を開催し、地域での福祉教育の推進を図った。また、「福祉教育検討会議」において今後の福祉教育推進の

ため協議するとともに、「福祉教育の取り組みに関する調査」を実施し、実態把握に努めた。

(2) ボランティア・市民活動への支援

① ボランティア・市民活動への参加促進

地域福祉活動の実現・拡充を資することを目的に、市町村社協 29 箇所、ボランティア・市民活動団体 11 箇所に助成を行った。

② 福島県からの県内避難者への支援

原発事故等により福島県から県内に避難している方を支援するため、復興支援員 3 人が福島県駐在員と連携して、避難者宅 37 世帯を訪問し、そのうち 31 世帯 (43 人) と面談し、また 269 件架電し、そのうち 198 世帯と通話するなど情報提供や相談に対応した。

(3) はつらつと社会参加できる環境づくり

① 全国健康福祉祭選手派遣事業

明るく活力ある長寿社会を築くため、高齢者を中心とするスポーツ・文化・芸術の総合的な祭典である「第 34 回全国健康福祉祭神奈川・横浜・川崎・相模原大会」に、選手団 (監督・選手・役員等 157 人) を派遣するとともに、美術展に作品を出展 (11 点) し、スポーツ・文化・芸術活動を通じた高齢者の社会参加と健康・生きがいを高揚・増進した。

② 茨城県健康福祉祭 (県版ねんりんピック) 開催事業

「第 35 回全国健康福祉祭えひめ大会」の予選会を兼ねた「いばらきねんりんスポーツ大会」を開催 (参加者 1,100 名) し、高齢者の生きがいと健康づくりを推進した。

また、高齢者の芸術・創作活動を促進するため、「わくわく美術展」 (展示数 459 点、来場者数 1,571 名) 及び、「ぼく☆わたしのおじいちゃん☆おばあちゃんの絵コンクール」 (応募 1,022 点、入賞 38 点) を同時に開催し、高齢者の生きがいの高揚や世代間交流を深めた。

③ 元気シニア地域貢献事業

高齢者の生きがい・健康づくりの推進と地域の活性化を図るため、様々な特技を持った高齢者を、茨城シニアマスター (286 個人・団体) に登録し、地域活動に活用 (75 件) することで高齢者のボランティア活動等への参加を支援した。

2 安心して利用できる福祉 (福祉サービス利用者への支援)

(1) 日常生活自立支援事業の充実

市町村社協と連携し、認知症高齢者、知的障害者、精神障害者など判断能力の不十分な方 (利用者 1,029 人) に対する福祉サービスの利用援助や日常的な金銭管理等の支援を行った。

(2) 児童養護施設退所者等自立支援資金貸付事業

児童養護施設等を退所した者で、就職や大学等へ進学したものに対し、家賃支援費等の貸付け (27 人) を行い、円滑な自立を支援した。

(3) 苦情解決事業の推進

福祉サービスに関する利用者等からの苦情を適切に解決し、併せて日常生活自立支援事業の適正な運営を確保するため、運営適正化委員会において苦情・相談 (179 件) に関する助

言・調整と、日常生活自立支援事業の契約内容の審議を行うとともに、事業実施状況調査及び県内 11 市町村社協の訪問調査を行った。

(4) 効果的な情報発信と提供

広報誌「いばらきの社会福祉」やホームページ、Facebook ページなどを活用し、迅速に福祉情報を提供することで、県民への福祉の理解と啓発に努めた。

(5) 低所得世帯等の自立支援

低所得者・障害者・高齢者世帯等に対し、103 件の生活福祉資金の貸付けを行い、経済的自立と生活意欲の助長を図り、安定した生活を送れるよう支援した。

なお、貸付金の償還に当たっては、債務者宅への個別訪問（158 件）を行い、債務者の生活状況の把握や個別の実情に応じた対応に努めることで、適切な債権回収と債務者の生活の安定を図った。

3 人を育て、共に歩む福祉（社会福祉事業の充実・活性化への支援）

(1) 福祉人材の確保と就労の促進

社会福祉事業所への就職希望者に対し、社会福祉法人等からの求人情報を提供するとともに、就業の相談や就職支援に努めた（事業所への紹介 157 件、就職採用 101 件）。

また、福祉求人情報誌「うえるわーく」を毎月 1 回発行し、求人情報の発信を行うとともに、デジタルサイネージやタウン誌を活用した広報活動に努めた。

(2) 福祉・介護人材確保及び定着のための支援

福祉・介護人材を確保するため、県内 6 会場にて「就職相談会」を開催（延べ参加者 148 人）したほか、福祉キャラバン隊が県内の中学校及び高等学校（計 18 校 26 コマ）を訪問し、介護に対する理解促進を図った。

また、資格取得を支援するため、介護福祉士受験対策講座の開催（参加者 128 人）や介護職員初任者研修受講費用の助成（139 人）などを行った。

(3) 修学資金等貸付事業

① 介護福祉士修学資金等貸付事業

県内の介護福祉士等の確保を図り、福祉の増進に資するため、介護福祉士等の資格取得を目指す学生を対象とした修学資金（介護福祉士 187 人、社会福祉士 10 人）や、介護の実務経験をもち介護福祉士の資格取得を目指す者を対象とした介護福祉士実務者研修受講資金（197 人）等の貸付を行った。

② 保育士修学資金等貸付事業

県内の保育士確保を図るため、保育士の資格取得を目指す学生を対象とした修学資金（388 人）、潜在保育士の復職を支援する潜在保育士就職準備金（27 人）、未就学児保育料（63 人）の貸付け等を行った。

③ 保育・幼児教育人材復職支援事業

潜在保育士及び幼稚園教諭の復職を容易にするため、新たに県内の保育所等に就労した未就学児のいる潜在保育士及び幼稚園教諭に保育料の半額を助成した（35 人）。

(4) 福祉人材の養成と質の向上

社会福祉事業従事者の専門性の確保と資質の向上を図るため、社会福祉施設及び市町村社協の役職員を対象として、社会福祉事業従事者に必要な知識・技術及び倫理の習得等をめざし

研修を実施した（階層別研修 14、専門研修 32、特別研修 4、計 50 研修。受講者（延べ 3,551 人）。

（５）民間社会福祉施設職員等退職手当支給事業の運営

民間社会福祉施設職員等に対する福利厚生の一環として、退職手当支給制度を運営し（加入者 892 施設：12,988 人）、令和 4 年度は 1,211 人に対して、退職手当金を支給するとともに、安全で適切な資産の運用管理を行った。

（６）地域包括ケアシステムの推進

市町村における生活支援体制整備の充実に向け、関係者の制度理解の深化を図り、先進事例の紹介や、グループワークなどの研修会、連絡会議を開催した（研修会・連絡会議の開催延 9 回計 26 日 参加者数延 1,539 人）。

（７）施設等職員緊急補充事業の支援

職員が新型コロナウイルスに感染した社会福祉施設に対し、他法人施設からの応援職員の派遣について、応援派遣登録者（107 事業所：180 人）の確認等を行うとともに、1 施設に対し、2 名の看護師を派遣した。

４ 切り拓く福祉（新たな課題課題への対応）

（１）生活困窮者自立支援制度への対応

生活困窮者自立支援制度推進のため、関係機関・団体が主催する研修会等に参加し情報収集をするとともに、市町村社協職員や関係団体・企業等との情報交換の場を提供することにつながり作りを行った。

また、支援制度の狭間にある方への支援を主にツナガルねっといばらきを開催し、関係施設や団体、企業と情報交換を行った。

（２）社会福祉法人との連携による生活課題解決に向けた取組

県社協職員の自主的な勉強会として発足した C I 会において、県内の社会福祉法人の「地域における公益的な取組」を推進する「チャレンジキッチン」モデル事業のプレ実施を着手した。また、新型コロナウイルス感染症の影響により販売の機会を失われた、就労支援事業所の商品をホームページで紹介するほか、生協と連携し販売場所の提供に努めた。

５ 前進する県社協（県社協の組織の充実）

（１）法人組織の充実と事務局体制の整備

「第 5 次茨城県地域福祉活動推進プラン」を総合的かつ計画的に進行するため、評価推進チームによる本年度分の実施項目の進行管理を行った。

（２）茨城県災害福祉支援ネットワークの推進

近年の自然災害等で避難所生活をされる方々を支援するため、福祉専門職等チーム員の募集や養成研修を実施し、新規登録（20 人）を行った。また、登録者の中から先遣隊及び中心となるチームリーダーの養成研修（修了者 11 人）を行った。

1 法人運営

(1) 理事会、評議員会及び監査

実施時期	事業・会議名	事業概要（会議事項）	会場 （開催方法）	参加者
4. 5. 26	監事監査	<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度事業報告について ・令和3年度一般会計、生活福祉資金会計収入支出決算について 	県福祉会館	7人
4. 6. 8	第1回理事会	<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度事業報告について ・令和3年度一般会計・生活福祉資金会計収入支出決算について ・評議員候補者の推薦について ・理事候補者の推薦について ・会計監査人の報酬について ・役員等賠償責任保険契約について ・令和4年度第1回評議員会（定時評議員会）の開催について 	県福祉会館	29人
4. 6. 30	第1回評議員会 （定時評議員会）	<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度事業報告について ・令和3年度一般会計・生活福祉資金会計収入支出決算について ・理事の選任について 	アダストリア みとアリーナ	42人
4. 7. 1	第2回理事会	<ul style="list-style-type: none"> ・会長の選定について ・副会長の選定について ・社会福祉法人茨城県社会福祉協議会諸規程の一部改正について ・顧問の委嘱について 	県福祉会館	27人
4. 11. 29	定期監査	<ul style="list-style-type: none"> ・内部監査報告 ・監査（令和4年度4月から9月までの事業執行状況説明） ・令和3年度決算監査時意見への対応状況 	県福祉会館	8人
4. 12. 9	第3回理事会	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度一般会計・生活福祉資金会計収入支出補正予算について ・社会福祉法人茨城県社会福祉協議会事務局職員就業規程の一部改正について ・評議員候補者の推薦について ・令和4年度第2回評議員会の開催について 	県福祉会館	33人
4. 12. 26	第2回評議員会	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度一般会計・生活福祉資金会計収入支出補正予算について 	水戸三の丸 ホテル	37人
5. 3. 10	第4回理事会	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度一般会計・生活福祉資金会計収入支出補正予算について ・令和5年度事業計画について ・令和5年度一般会計・生活福祉資金会計収入支出予算について ・社会福祉法人茨城県社会福祉協議会定款の変更について ・わくわく事業推進サポーター規程の一部化改正について ・社会福祉法人茨城県社会福祉協議会児童養護施設退所者等自立支援資金貸付規程の一部改正について ・理事候補者の推薦について ・令和4年度第3回評議員会の開催について 	県福祉会館	20人

実施時期	事業・会議名	事業概要（会議事項）	会場 （開催方法）	参加者
5. 3. 24	第3回評議員会	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度一般会計・生活福祉資金会計収入支出補正予算について ・令和5年度事業計画について ・令和5年度一般会計・生活福祉資金会計収入支出予算について ・社会福祉法人茨城県社会福祉協議会定款の変更について ・理事の選任について 	県福祉会館	39人

（2）評議員選任・解任委員会の開催

実施時期	事業・会議名	事業概要（会議事項）	会場 （開催方法）	参加者
4. 6. 8	第1回評議員選任・解任委員会	・評議員の選任について	県福祉会館	6人
4. 12. 16	第2回評議員選任・解任委員会	・評議員の選任について	（決議の省略）	5人

2 委員会の開催

（1）総合企画委員会

実施時期	事業・会議名	事業概要（会議事項）	会場 （開催方法）	参加者
4. 5. 18	第1回総合企画委員会	・「第5次茨城県地域福祉活動推進プラン」の進行管理について	ザ・ヒロサワ・シティ会館分館	24人

（2）茨城県ボランティアセンター運営委員会等

実施時期	事業・会議名	事業概要（会議事項）	会場 （開催方法）	参加者
4. 4. 22	第1回茨城県ボランティアセンター運営委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度茨城県ボランティアセンター事業実施状況について ・令和4年度茨城県ボランティアセンター事業計画について ・令和4年度茨城県市町村社協ボランティア・市民活動促進事業費助成金について ・令和4年度茨城県ボランティア・市民活動推進事業費助成金について 	県福祉会館 介護実習普及センター 実習室	12人
4. 7. 6	第2回茨城県ボランティアセンター運営委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・県内のボランティア把握人数、登録人数調査結果について ・委員長・副委員長の選任について ・令和4年度茨城県市町村社協ボランティア・市民活動促進事業費助成金の審査について ・令和4年度茨城県ボランティア・市民活動推進事業費助成金の審査について 	県福祉会館 ボランティア会議室	12人
5. 3. 15	第3回茨城県ボランティアセンター運営委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度茨城県ボランティアセンター事業実施状況について ・令和5年度茨城県ボランティアセンター実施事業（案）について ・令和5年度助成事業について 	県福祉会館 ボランティア会議室	13人

(3) 茨城県民間社会福祉施設職員等退職手当支給制度運営委員会

実施時期	事業・会議名	事業概要 (会議事項)	会場 (開催方法)	参加者
4. 6. 15	茨城県民間社会福祉施設職員等退職手当支給制度第1回運営委員会	報告事項 ・令和3年度事業実績及び収支決算について ・既契約法人の新施設設契約について	ホテルレイクビュー水戸	7人
5. 3. 2	茨城県民間社会福祉施設職員等退職手当支給制度第2回運営委員会	報告事項 ・既契約法人の新施設設契約について ・令和4年度補正予算について ・退職手当支給制度財政検証について 審議事項 ・令和5年度事業計画(案)及び収入支出予算(案)について ・新規法人の新施設設契約について	水戸京成ホテル	8人

(4) 茨城わくわくセンター運営委員会

実施時期	事業・会議名	事業概要 (会議事項)	会場 (開催方法)	参加者
4. 6. 28	茨城わくわくセンター運営委員会	・令和3年度茨城わくわくセンター事業報告及び決算について ・令和4年度茨城わくわくセンター事業計画及び予算について ・第5次茨城県地域活動推進プランの進行管理について	県福社会館 (オンライン併用)	10人

(5) 介護福祉士修学資金等貸付制度運営委員会

実施時期	事業・会議名	事業概要 (会議事項)	会場 (開催方法)	参加者
4. 8. 1	介護福祉士修学資金等貸付制度運営委員会	報告事項 ・令和3年度介護福祉士修学資金等貸付事業実施状況について 協議事項 ・令和4年度介護福祉士修学資金等貸付者の選考について	(オンライン)	9人

(6) 保育士修学資金等貸付制度運営委員会

実施時期	事業・会議名	事業概要 (会議事項)	会場 (開催方法)	参加者
4. 8. 1	保育士修学資金等貸付制度運営委員会	報告事項 ・令和3年度保育士修学資金等貸付事業実施状況について 協議事項 ・令和4年度保育士修学資金貸付者の選考について ・令和4年度第1期保育補助者雇上費貸付者の選考について	(オンライン)	11人

(7) 児童養護施設退所者等自立支援資金貸付制度運営委員会

実施時期	事業・会議名	事業概要（会議事項）	会場 (開催方法)	参加者
4. 6. 16	児童養護施設退所者等自立支援資金貸付制度運営委員会	報告事項 ・令和3年度までの貸付実績等について ・資格取得支援費貸付決定者について ・貸付者の現況について 協議事項 ・令和4年度第1期貸付者の選考について	県福祉会館	8人
4. 10. 21		報告事項 ・令和4年度第1期貸付決定者について 協議事項 ・令和4年度第2期貸付者の選考について	(オンライン)	9人
5. 2. 24		報告事項 ・児童養護施設退所者等自立支援資金貸付規程の一部改正について ・資格取得支援費貸付決定者について 協議事項 ・令和4年度第3期貸付者の選考について	(オンライン)	9人

3 茨城県社会福祉大会の開催

実施時期	事業・会議名	事業概要（会議事項）	会場 (開催方法)	参加者
4. 8. 3	大会運営委員会	・第72回茨城県社会福祉大会について	県福祉会館	27人
4. 8. 3	顕彰審査委員会	・第72回茨城県社会福祉大会における本会会長表彰候補者の審査について ・第72回茨城県社会福祉大会における本会会長が感謝の意を表する者について	県福祉会館	21人
4. 10. 19	第72回茨城県社会福祉大会	・オープニングアトラクション「NPO法人ポルターモ」 ・式典	ザ・ヒロサワ・シティ会館	625人

4 広報・啓発

(1) 広報誌「いばらきの社会福祉」発行

1回あたり7,000部を4回発行（No.326～No.329）し、会員のほか広く配布した。

加えて、特別号（10/1）を474,700部作成し、各市町村社協を通じて各世帯に配布、回覧した。

発行	特集	地域福祉活動レポート
7月号 (7/25)	「災ボラ STANDBY」紹介	リスカ株式会社（常総市） 「笑顔と幸せな時間のために、お菓子を贈り続けています」
9月号 (9/26)	令和3年度事業実績報告・決算 令和4年度事業計画・予算	野木 利三郎氏（那珂市） 「座右の銘は、人を助けて我が身助かる」
1月号 (1/25)	新年挨拶	しもつま外国人支援ネットワーク TOMODACHI（下妻市） 「みんなの居場所づくりから、交流と共生が生まれる」
3月号 (3/25)	静岡市災害ボランティアセンターへ応援職員を派遣しました。	つくばけやキッズ（つくば市） 「病気と闘う子どもたちと家族に、花火を通して幸せを届けたい」

(2) ホームページ及びフェイスブックの運用

① ホームページ

ア 訪問数

156,113回

イ 閲覧の多かった記事（上位5件）

- ・新型コロナウイルス感染症の影響による生活福祉資金の特例貸付に関するお知らせ
- ・茨城県福祉人材センター
- ・互助会のご案内
- ・修学資金等貸付事業
- ・社会福祉事業従事者研修

② フェイスブック

ア 閲覧の多かった記事（上位5件）

- ・天台宗茨城仏教青年会様からお供え物を寄贈いただきました。
- ・県立土浦第二高等学校に「福祉キャラバン隊」が訪問しました。
- ・茨城県交通遺児福祉基金 高等学校卒業生等激励金
- ・令和4年度福祉教育推進セミナーを開催しました。
- ・セブン-イレブン・ジャパン様から商品の寄贈をいただきました。

5 第5次茨城県地域福祉活動推進プランの進行管理

役職員を構成員とする評価推進チームを設置して、「第5次茨城県地域福祉活動推進プラン」の令和4年度実施事業について、実施項目ごとの評価を行い、課題整理、対応策、今後の事業の方向性を示した（令和5年3月13日開催）。

6 日常生活自立支援事業の実施

(1) 会議・研修会の開催

実施時期	事業・会議名	事業概要（会議事項）	会場 (開催方法)	参加者
4. 4.15 5. 5.13 7. 7.22 10. 10.14 11. 11.11 12. 12.9 5. 5.1.13 2. 2.10	契約締結審査会 (第1～8回)	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉サービス利用援助契約の締結能力判定審査、解約審査 ・困難対応ケース等の相談 ・成年後見制度との併用について 等 	県福祉会館	延66人
4. 4.7.22	日常生活自立支援事業新任専門員研修会	<ul style="list-style-type: none"> ・消費者被害のトラブル回避 講師 茨城県消費生活センター アドバイザー 岡田 美枝子 氏 ・専門員の活動について 講師 小美玉市社会福祉協議会 専門員 富田 千鶴 氏 ・対象者別アセスメントの方法について 講師 茨城県社会福祉協議会 生活支援部 主任 松本 佳子 ・グループ協議「アセスメントで心がけること」 (ブレイクアウトルームセッション) ・事務処理上の留意点（事務局） 	(オンライン)	30人
5. 5.1.16	現任生活支援員研修会	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症高齢者等への対応方法について 講師 認知症ケア研究所 統括管理者 高橋 克佳 氏 講義・グループワーク・発表・講師からの講評の手順で研修会を進めた。 	(オンライン)	174人

実施時期	事業・会議名	事業概要（会議事項）	会場 （開催方法）	参加者
5. 1. 26	日常生活自立支援事業専門員会議	・利用料見直しについての事前アンケートを踏まえて グループワークⅠ（途中経過報告） グループワークⅡ（途中経過報告） グループワークⅢ（意見発表） 会議終了後アンケートの聴取	（オンライン）	37人

（2）会議、研修への講師派遣

実施時期	事業・会議名	事業概要（会議事項）	会場 （開催方法）	参加者
5. 1. 24 1. 31 2. 2 2. 7 2. 14 2. 16 3. 3 3. 7 3. 14 3. 17 3. 20	日常生活自立支援事業実施状況調査	・事業実施状況について訪問調査を実施 ・利用者への支援記録の点検及び通帳等の預かり状況、記録票等の記載及び管理状況の現地確認並びに聞き取り調査	高萩市社協 つくば市社協 かすみがうら市社協 東海村社協 常陸太田市社協 北茨城市社協 石岡市社協 つくばみらい市社協 阿見町社協 美浦村村社協 日立市社協	延46人

（3）福祉サービス利用援助契約締結利用者数1,029人（うち生活保護受給者数464人）

認知症高齢者等	知的障害者等	精神障害者等	その他	合計
406	229	353	41	1,029

（4）日常生活自立支援事業基幹的社協 全市町村（44）社協実施

委託先	利用者数	委託先	利用者数	委託先	利用者数
水戸市社協	179	つくば市社協	28	つくばみらい市社協	17
日立市社協	18	ひたちなか市社協	26	小美玉市社協	27
土浦市社協	20	鹿嶋市社協	32	茨城町社協	23
古河市社協	20	潮来市社協	26	大洗町社協	10
石岡市社協	10	守谷市社協	34	城里町社協	4
結城市社協	7	常陸大宮市社協	4	東海村社協	27
龍ヶ崎市社協	21	那珂市社協	17	大子町社協	15
下妻市社協	20	筑西市社協	31	美浦村社協	22
常総市社協	49	坂東市社協	15	阿見町社協	24
常陸太田市社協	16	稲敷市社協	29	河内町社協	2
高萩市社協	2	かすみがうら市社協	11	八千代町社協	2
北茨城市社協	37	桜川市社協	1	五霞町社協	3
笠間市社協	63	神栖市社協	25	境町社協	18
取手市社協	38	行方市社協	6	利根町社協	7
牛久市社協	32	鉾田市社協	11		

(5) 関係機関との連携

実施時期	事業・会議名	事業概要 (会議事項)	会場 (開催方法)	参加者
4. 7. 27	北関東三県社協 日常生活自立支 援事業担当者会 議	<ul style="list-style-type: none"> 各県社協の日常生活自立支援事業実施状況について 情報交換 	(オンライン)	本会か ら3人

7 成年後見制度の推進

(1) 会議・研修会の開催

実施時期	事業・会議名	事業概要 (会議事項)	会場 (開催方法)	参加者
4. 7. 6	成年後見制度担 当者研修会	<p>市町村社協・行政の業務担当者を対象に成年後見制度利用促進法等に係る研修会を実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> 説明「成年後見制度利用促進法と第二期基本計画について」 講師 厚生労働省社会・援護局地域福祉課 成年後見制度利用促進室 室長補佐 服部 弘幸 氏 説明「茨城県の現状について」 講師 茨城県福祉部長寿福祉課 係長 寺内 章人 氏 講義「権利擁護支援の理解と成年後見制度の基礎知識」 講師 ふれあい通り法律事務所 弁護士 千葉 真理子 氏 	(オンライン)	170人
4. 10. 26	市町村長申立て 実務に関する研 修会	<p>市町村の事業担当者を対象に、申立てに必要な知識を習得し、適切な支援ができることを目的に研修会を開催。</p> <ul style="list-style-type: none"> 説明「成年後見制度の現状」 講師 茨城県福祉部長寿福祉課 係長 寺内 章人 氏 講義「成年後見制度申立ての実務」 講師 成年後見センター・リーガルサポート茨城支部 司法書士 下山 竜二 氏 講義「地域の権利擁護において市町村に求められていること」 講師 茨城県社会福祉士会 会長 竹之内 章代 氏 講義「市町村長申立ての留意点」 講師 取手市役所高齢福祉課 係長 寺崎 邦秀 氏 講義「家庭裁判所からの申立てに関する留意点」 講師 水戸家庭裁判所家事書記官室 主任書記官 佐々木 守 氏 	(オンライン)	125人
5. 1. 12	法人後見実施団 体連絡会	<p>県内で法人後見事業を実施している団体(市町村社協およびNPO法人)対象に開催。</p> <ul style="list-style-type: none"> 説明「成年後見利用促進に係わる茨城県の状況」 講師 茨城県福祉部長寿福祉課 係長 寺内 章人 氏 団体活動紹介、意見交換 	(オンライン)	30人

実施時期	事業・会議名	事業概要（会議事項）	会場 (開催方法)	参加者
5. 3. 13	成年後見制度利用促進に向けた担当職員研修会	<p>市町村の事業担当者を対象に、各市町村の進捗状況を振り返り、更なる事業推進を目指し開催。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・説明「第二期成年後見制度利用促進基本計画について」 講師 茨城県福祉部長寿福祉課 係長 寺内 章人 氏 ・鼎談「令和5年度成年後見制度利用促進に向けて」 進行 茨城県福祉部長寿福祉課 係長 寺内 章人 氏 鼎談 水戸市社会福祉協議会 事務局長 多田 厚史 氏 取手市役所高齢福祉課 係長 寺崎 邦秀 氏 茨城県社会福祉士会 会長 竹之内 章代 氏 ・ブロック別検討会 	(オンライン)	122人

(2) 関係機関との連携

- ・水戸家庭裁判所情報交換会（水戸家裁、県、取手市高齢福祉課、県社協）（年5回）
- ・水戸家庭裁判所主催家事関係機関連絡協議会への参加（5.1.20）

(3) 市町村社協支援

- ・ひたちなか市社協法人後見業務運営委員会への参加（年2回）（4.10.18、書面開催5.3）

(4) 会議・研修会への参加

- ・日本司法支援センター茨城地方協議会 県央地区（4.10.12）
- ・リーガルサポート成年後見相談会（4.10.29）
- ・守谷市権利擁護関係機関情報交換会（4.12.21）
- ・厚生労働省 成年後見制度利用促進体制整備研修 基礎（R4.11.9～11.11 + 動画配信）
- ・厚生労働省 成年後見制度利用促進体制整備研修 応用（R5.2.6～2.7 + 動画配信）
- ・権利擁護支援体制全国ネットセミナー（5.3.2）
- ・厚生労働省 後見人等への意思決定支援研修（5.3.24）

8 生活福祉資金等貸付事業

(1) 生活福祉資金運営委員会の開催

開催回数 8回（4・6・7・8・9・10・1・3月開催）※10月は書面開催
審査等状況

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
貸付審査	1件	0件	1件	2件	2件	1件	1件	0件	0件	1件	0件	1件
償還免 除審査	貸付金	1件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件
	延滞利子	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件
償還猶予審査	1件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件
法的措置審査	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件

(2) 生活福祉資金申込・貸付決定状況

資金種類	申込		貸付決定		
	件数	金額	件数	金額	
総合支援資金	生活支援費	6件	2,072,000円	4件	790,000円
	住宅入居費	1件	6,300円	0件	0円
	一時生活再建費	1件	600,000円	0件	0円

資金種類		申込		貸付決定	
		件数	金額		件数
福祉資金	福祉費	22件	10,192,000円	19件	4,581,000円
	緊急小口資金	26件	2,377,000円	13件	1,059,000円
教育支援資金	教育支援費	36件	46,363,000円	32件	42,986,000円
	就学支度費	41件	11,335,000円	34件	8,774,000円
不動産担保型生活資金		0件	0円	0件	0円
要保護世帯向け不動産担保型生活資金		3件	10,679,247円	1件	5,343,450円
生活復興支援資金	一時生活支援費	0件	0円	0件	0円
	生活再建費	0件	0円	0件	0円
	住宅補修費	0件	0円	0件	0円
臨時特例つなぎ資金		0件	0円	0件	0円
合計		136件	83,624,547円	103件	63,533,450円

※ 上記、総合支援資金（生活支援費）及び福祉資金（緊急小口資金）申込及び貸付決定には、新型コロナウイルス感染症に伴う特例貸付の実績は含まない。

総合支援資金（生活支援費）申込件数には、審査中の1件及び貸付不承認3件を含む。

総合支援資金（住宅入居費）申込件数には、貸付不承認1件を含む。

総合支援資金（一時生活再建費）申込件数には、貸付不承認1件を含む。

福祉資金（福祉費）申込件数には、審査中の1件及び貸付不承認3件を含んでおり、貸付決定には、令和3年度に申込があり令和4年度に貸付決定した1件360,000円を含む。

福祉資金（緊急小口資金）申込件数には、貸付不承認13件を含む。

教育支援資金（教育支援費）申込件数には、審査中の5件を含んでおり、貸付決定には、令和3年度に申込があり令和4年度に貸付決定した1件90,000円を含む。

教育支援資金（就学支度費）申込件数には、審査中の7件及び貸付不承認1件を含んでおり、貸付決定には、令和3年度に申込があり令和4年度に貸付決定した1件160,000円を含む。

要保護世帯向け不動産担保型生活資金申込件数には、貸付不承認2件を含む。

(3) 生活福祉資金貸付金償還免除状況

件数	金額			合計
	元金	貸付利子	延滞利子	
14件	3,850,320円	146,357円	1,812,571円	5,809,248円

(4) 生活福祉資金貸付金延滞利子償還免除状況

件数	金額	合計
0件	0円	0円

(5) 債務者への個別訪問状況

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
9件	20件	17件	26件	22件	0件	0件	8件	16件	10件	9件	21件	158件

(6) 新型コロナウイルス感染症に伴う特例貸付（令和4年度分）

資金種類	申込件数	申込金額	貸付決定件数	貸付決定金額
緊急小口資金（特例貸付）	1,668件	332,670,000円	1,592件	312,530,000円
市町村社協受付分	1,668件	332,670,000円	1,592件	312,530,000円
総合支援資金（特例貸付）	1,653件	850,695,000円	1,508件	774,115,000円
生活支援費（初回貸付）	1,653件	850,695,000円	1,508件	774,115,000円
生活支援費（延長貸付）	0件	0円	0件	0円
生活支援費（再貸付）	0件	0円	0件	0円
合計	3,321件	1,183,360,000円	3,100件	1,086,645,000円

- ※ 緊急小口資金（特例貸付）貸付決定には、令和3年度に申込があり令和4年度に決定した872件168,970,000円を含む。
- ※ 総合支援資金（特例貸付）貸付決定には、令和3年度に申込があり令和4年度に決定した2,806件1,460,630,000円（初回貸付：1,043件536,260,000円／延長貸付：281件145,510,000円／再貸付1,482件778,860,000円）を含む。

（参考：新型コロナウイルス感染症に伴う特例貸付 令和元年度から令和4年度末までの累計）

資金種類	申込件数	申込金額	貸付決定件数	貸付決定金額
緊急小口資金（特例貸付）	32,150件	6,147,820,000円	30,744件	5,872,580,000円
市町村社協受付分	31,317件	5,992,960,000円	29,940件	5,723,220,000円
郵便局受付分	193件	37,000,000円	181件	34,700,000円
労働金庫受付分	640件	117,860,000円	623件	114,660,000円
総合支援資金（特例貸付）	44,126件	22,734,684,000円	42,097件	21,720,534,000円
生活支援費（初回貸付）	27,449件	14,049,322,000円	26,084件	13,371,442,000円
生活支援費（延長貸付）	6,945件	3,599,132,000円	6,716件	3,482,032,000円
生活支援費（再貸付）	9,732件	5,086,230,000円	9,297件	4,867,060,000円
合 計	76,276件	28,882,504,000円	72,841件	27,593,114,000円

※ 郵便局及び労働金庫による受付は、令和2年9月末で終了した。

（7）新型コロナウイルス感染症に伴う特例貸付償還免除状況

- ① 緊急小口資金（特例貸付）、総合支援資金（特例貸付）生活支援費（初回貸付・延長貸付・再貸付）
合算値

該当免除要件	決定件数	決定金額（千円）
償還免除決定件数	16,029件	5,519,237千円
うち、判定年度において住民税非課税であった場合（償還免除規程第1の1一）	15,138件	5,219,629千円
うち、判定時期以後に借受人及び世帯主が住民税非課税となっている場合（償還免除規程第1の5）	—	—
うち、生活保護を受給した場合（償還免除規程第2の一①）	244件	72,046千円
うち、精神保健福祉手帳（1級）又は身体障害者手帳（1級又は2級）の交付を受けた場合（償還免除規程第2の一②）	78件	27,092千円
うち、借受人が死亡した場合（償還免除規程第2の二①）	224件	80,808千円
うち、借受人の失踪の宣告がされている場合（償還免除規程第2の二②）	0件	0円
うち、自己破産又は個人再生手続きを行い返済が完了し、免責が確定した場合（償還免除規程第2の三①）	345件	119,662千円
償還免除の不承認決定件数 ※決定件数のみ	4,634件	—

- ② 緊急小口資金（特例貸付）

該当免除要件	決定件数	決定金額（千円）
償還免除決定件数	8,471件	1,606,866千円
うち、判定年度において住民税非課税であった場合（償還免除規程第1の1一）	8,024件	1,526,388千円
うち、判定時期以後に借受人及び世帯主が住民税非課税となっている場合（償還免除規程第1の5）	—	—
うち、生活保護を受給した場合（償還免除規程第2の一①）	140件	24,256千円
うち、精神保健福祉手帳（1級）又は身体障害者手帳（1級又は2級）の交付を受けた場合（償還免除規程第2の一②）	41件	7,367千円
うち、借受人が死亡した場合（償還免除規程第2の二①）	103件	19,250千円

うち、借受人の失踪の宣告がされている場合（償還免除規程第2の二②）	0件	0円
うち、自己破産又は個人再生手続きを行い返済が完了し、免責が確定した場合（償還免除規程第2の三①）	163件	29,605千円
償還免除の不承認決定件数 ※決定件数のみ	2,457件	—

③ 総合支援資金（特例貸付）生活支援費（初回貸付）

該当免除要件	決定件数	決定金額（千円）
償還免除決定件数	7,445件	3,855,947千円
うち、判定年度において住民税非課税であった場合（償還免除規程第1の1一）	7,114件	3,693,241千円
うち、判定時期以後に借受人及び世帯主が住民税非課税となっている場合（償還免除規程第1の5）	—	—
うち、生活保護を受給した場合（償還免除規程第2の一①）	104件	47,790千円
うち、精神保健福祉手帳（1級）又は身体障害者手帳（1級又は2級）の交付を受けた場合（償還免除規程第2の一②）	37件	19,725千円
うち、借受人が死亡した場合（償還免除規程第2の二①）	76件	38,394千円
うち、借受人の失踪の宣告がされている場合（償還免除規程第2の二②）	0件	0円
うち、自己破産又は個人再生手続きを行い返済が完了し、免責が確定した場合（償還免除規程第2の三①）	114件	56,797千円
償還免除の不承認決定件数 ※決定件数のみ	2,177件	—

④ 総合支援資金（特例貸付）生活支援費（延長貸付）

該当免除要件	決定件数	決定金額（千円）
償還免除決定件数	56件	27,434千円
うち、判定年度において住民税非課税であった場合（償還免除規程第1の1一）	0件	0円
うち、判定時期以後に借受人及び世帯主が住民税非課税となっている場合（償還免除規程第1の5）	—	—
うち、生活保護を受給した場合（償還免除規程第2の一①）	0件	0円
うち、精神保健福祉手帳（1級）又は身体障害者手帳（1級又は2級）の交付を受けた場合（償還免除規程第2の一②）	0件	0円
うち、借受人が死亡した場合（償還免除規程第2の二①）	23件	11,864千円
うち、借受人の失踪の宣告がされている場合（償還免除規程第2の二②）	0件	0円
うち、自己破産又は個人再生手続きを行い返済が完了し、免責が確定した場合（償還免除規程第2の三①）	33件	15,570千円

⑤ 総合支援資金（特例貸付）生活支援費（再貸付）

該当免除要件	決定件数	決定金額（千円）
償還免除決定件数	57件	28,990千円
うち、判定年度において住民税非課税であった場合（償還免除規程第1の1一）	0件	0円
うち、判定時期以後に借受人及び世帯主が住民税非課税となっている場合（償還免除規程第1の5）	—	—
うち、生活保護を受給した場合（償還免除規程第2の一①）	0件	0円
うち、精神保健福祉手帳（1級）又は身体障害者手帳（1級又は2級）の交付を受けた場合（償還免除規程第2の一②）	0件	0円
うち、借受人が死亡した場合（償還免除規程第2の二①）	22件	11,300千円
うち、借受人の失踪の宣告がされている場合（償還免除規程第2の二②）	0件	0円

うち、自己破産又は個人再生手続きを行い返済が完了し、免責が確定した場合（償還免除規程第2の三①）	35件	17,690千円
--	-----	----------

9 生活困窮者自立支援法への対応

(1) 会議・研修会への開催

実施時期	事業・会議名	事業概要（会議事項）	会場 (開催方法)	参加者
4. 6. 8	生活困窮者自立支援制度に係る第1回企画検討チーム員会議	・生活困窮者自立支援制度人材養成研修について ・生活困窮者自立支援制度都道府県研修及び任意研修について	(オンライン)	8人
4. 8. 2	生活困窮者自立支援事業従事者初任者研修	・行政説明 ・生活困窮者支援制度に係わる講義 ・グループワーク	水戸合同庁舎	54人
4. 9. 8	生活困窮世帯に対する子どもの学習・生活支援事業従事者研修	・事例発表 ・困難を抱える子どもたちへの対応に係る講義・演習 ・グループワーク	水戸合同庁舎	23人
4.10.31	生活困窮者自立支援制度に係る第2回企画検討チーム員会議	・生活困窮者自立支援制度都道府県研修及び任意研修について	(オンライン)	9人
4.12.22	生活困窮者自立支援制度支援員等研修	・生活困窮者自立支援制度等の講義 ・グループワーク	(動画配信) 水戸合同庁舎	33人
5. 3.23	ツナガルねっといばらき	・今後の活動に向けた意見交換	(オンライン)	13人

(2) 会議・研修会の参加

実施時期	事業・会議名	事業概要（会議事項）	会場 (開催方法)	参加者
4. 6.28	社協が取り組み「子ども食堂」との協働実践研修会	・講演「社協と子ども食堂」 ・話題提供「予算化される前からの取り組み事例」 ・話題提供「事業化後の取り組み事例」 ・グループディスカッション	(オンライン)	本会から2人
4. 8.31	地域を編む孤立0(ゼロ)プロジェクト合同研修会	・講演「子ども・若者が抱える生きづらさ」 ・グループワーク「これからのヒント」 ・モデル事業活動紹介	県青少年会館	本会から1人
4.10.27	県央地区子ども食堂交流会	・講演「子どもの貧困と共助・控除」 ・会場とのクロストーク	水戸市 国際交流センター	本会から1人
4.11.14	ミールズ・オン・ホイールズロジシステムについて	・事例報告 ・意見交換「中間支援組織からみたMOWLS」 ・施策の動向	(オンライン)	本会から2人
4.11.12 他	生活困窮者自立支援全国研究交流大会	・シンポジウム ・テーマごと分科会による事例報告	(オンライン)	本会から1人

10 県内避難者への支援

(1) 戸別訪問・架電

訪問 37 世帯（うち面談 31 世帯（43 人）、架電 281 世帯（うち通話 210 世帯）

(2) 避難者交流会等への参加

実施時期	事業名	主催	会場	本会参加
4. 10. 26	福島県避難者交流会（ヨガ、茶話会）	じゃあまいのねっと	ふれあいセンターごだい	2 人
5. 3. 4	東日本大震災 12 年特別企画 「ふくしまを未来につなぎ伝え続けよう」	一般社団法人ふうあいねっと 共催：茨城県社会福祉協議会	県福祉会館	3 人

(3) 避難者支援に関わる団体等との会議・情報交換

実施時期	事業名	主催	会場	本会参加
4. 4. 26 ～5. 3. 23	避難者支援月例ミーティング（毎月 1 回）	福島県避難者支援課	県福祉会館	延 50 人
4. 5. 24	富岡町復興支援員との意見交換会	一般社団法人ふうあいねっと	県福祉会館	4 人
4. 5. 28	一般社団法人ふうあいねっと総会	一般社団法人ふうあいねっと	県福祉会館	1 人
4. 9. 21	一般社団法人ふくしま生活就職応援センター	一般社団法人ふうあいねっと	県福祉会館	3 人
4. 10. 19	第 23 回広域避難者支援連絡会 in 東京	広域避難者支援連絡会 in 東京	（オンライン）	1 人

(4) 参加した研修・情報交換他

実施時期	事業名	主催	会場	本会参加
4. 4. 12 ～8. 30	カウンセリング講座 入門・レクチャー（期間中の 10 日間）	公益財団法人茨城カウンセリングセンター	（オンライン）	1 人
4. 8. 5	第 1 回相談員研修	一般社団法人ふくしま連携復興センター	（オンライン）	3 人
4. 8. 23	復興支援員合同情報交換会	福島県復興支援員	（オンライン）	3 人
4. 10. 6	福島県視察研修（東日本大震災伝承館、震災遺構・浪江町立請戸小学校）	茨城県社会福祉協議会	福島県双葉町・浪江町	3 人
4. 11. 29	復興支援員合同勉強会	福島県復興支援員 東京他	（オンライン）	3 人
5. 2. 28	水戸市いきいき出前講座「地域包括支援センターってなあに？」	茨城県社会福祉協議会	県福祉会館	5 人
5. 3. 7	復興支援員事例検討会	福島県復興支援員 東京他	（オンライン）	3 人

(5) ふるさとふくしま作品展

避難者の交流を目的にオンラインで実施した。

- ・作品掲載者（12 人） 配信期間 令和 4 年 3 月 1 日～令和 6 年 3 月 31 日

11 福祉施設等との連携による生活課題解決

(1) C I 会推進 G 打合せ 7 回

- ① 「チャレンジキッチン」モデル事業実施に向けた打合せ・法人支援に関する情報共有
- ② 就労支援事業所応援事業に関する打合せ

(2) 「チャレンジキッチン」モデル事業の実施

新型コロナウイルス感染症拡大により、亮和会は事業休止、征峯会は継続実施。

【モデル事業取組法人】

- 社会福祉法人亮和会（古河市） 休止中。
- 社会福祉法人征峯会（筑西市） 継続実施。

(3) 就労支援事業所応援事業

新型コロナウイルス感染症の影響により就労支援事業所の商品販売機会が失われたことから、各事業の

商品を本会ホームページで紹介するほか、生協と連携し販売場所を提供した。

- ・参加事業所数 27 事業所（ホームページに商品情報を掲載）
- ・生協事務所における販売会の開催 19回 延べ24 事業所

(4) その他、目的達成のために参加した会議・研修等

実施時期	事業概要（会議事項）	会場	参加者
4. 4. 27	第3回東海村社協財政基盤検討委員会	東海村社会福祉協議会	1人
4. 7. 7	第4回東海村社協財政基盤検討委員会	東海村社会福祉協議会	1人
4. 9. 8	第5回東海村社協財政基盤検討委員会	東海村社会福祉協議会	1人

(5) 寄附付き自動販売機の対応

寄附付き自販機設置事業所： 社会福祉法人博慈会 東筑波ユートピア 社会福祉法人絢会
 県内3か所に設置された寄附付き自動販売機の売上金の一部を寄附していただいた。

12 福祉人材センターの運営

(1) 福祉人材センター運営事業

① 社会福祉事業従事者の確保に資する事業

実施時期	事業・会議名	事業概要（会議事項）	会場 (開催方法)	参加者
5. 1. 15	福祉の職場説明会(ガイダンス)	学生や福祉職場への就職希望者を対象に、就職活動にあたって役立つ知識の習得を目的とした講座を開催した。	ホテルレイクビュー水戸	26人
5. 2. 22	茨城キリスト教大学業界研究会(福祉人材センターサイト)	福祉施設に就労を希望する学生に福祉人材センターについて説明するとともに、求職登録等の案内を行った。	(オンライン)	3人
通年	福祉人材無料職業紹介事業	インターネットを活用し、福祉の職場への就労斡旋と求人事業所への人材確保を推進した。	県福祉会館	別表参照
年12回	福祉人材情報誌の作成・発行	求人情報の提供を図るため福祉人材情報誌『うえるわーく』を作成し配布した。1回400部発行(有効求職者等)		
年12回	求職登録者一覧の作成・発行	求職者情報の提供を図るため、「求職登録者一覧」を作成し配信した。(有効求人事業所等)		

② 福祉人材センター利用状況集計表(求職状況実績)

項目	内 容	求職登録者数	項目	内 容	求職登録者数
性 別	男	241	分野別 (複数回答)	高齢者	290
	女	400		障害者	128
	合計	641		障害者(身体)	11
年齢別	10歳代	2		障害者(知的)	28
	20歳代	105		障害者(精神)	17
	30歳代	75		児童	102
	40歳代	152		社会福祉協議会(現業員含む)	96
	50歳代	192		その他福祉	66
	60歳~64歳	59		不問	59
	65歳代以上	56		合計	797
	合計	641	資格別 (複数回答)	介護福祉士	158
勤 務 形態別	正職員	346		社会福祉士	91
	非正規職員	226		精神保健福祉士	24
	不問	69		保育士	43
	合計	641		社会福祉主事	78

項目	内 容	求職登録者数	項目	内 容	求職登録者数
地域別 (複数回答)	県北地区	121	資格別 (複数回答)	児童指導員	16
	県央地区	229		介護支援専門員	32
	県南地区	26		実務者研修	71
	県西地区	96		介護職員初任者研修	199
	鹿行地区	55		セラピスト (OT・PT)	4
	不問	18		看護職	23
	合計	545		栄養士	3
				調理師	16
				教 員	47
				その他	76
				資格なし	129
				合計	1,010

項目	内 容	求職登録者数
職種別 (複数回答)	介護職	263
	相談・支援・指導員	164
	介護支援専門員	13
	ホームヘルパー	24
	保育士	29
	社会福祉協議会専門員	28
	セラピスト (OT・PT)	6
	看護職	12
	事務職	81
	栄養士・調理員	18
	その他	73
	不問	27
	合計	738

③ 福祉人材センター利用状況集計表 (求人数実績)

項目	内 容	件数	人数	項目	内 容	件数	人数
分野別	高齢者	1,576	3,052	学歴別 (最終学歴)	大学卒	20	31
	障害者	219	420		短大卒	9	13
	障害者 (身体)	45	152		専門学校卒	87	165
	障害者 (知的)	94	234		高校卒	339	674
	障害者 (精神)	26	37		不問	1,948	3,789
	児童保育所・児童養護・障害児施設等)	341	638		合計	2,403	4,672
	社会福祉協議会 (現業員含)	75	95	資格別 (複数回答)	介護福祉士 (取得見込含)	649	1,273
	その他	27	44		社会福祉士 (取得見込含)	201	303
	合計	2,403	4,672		精神保健福祉士 (取得見込含)	63	83
職種別	介護職	858	2,002		保育士 (取得見込含)	280	564
	相談・支援・指導員	389	715		社会福祉主事	80	134
	介護支援専門員	151	170		児童指導員	64	153
	ホームヘルパー	133	430		介護支援専門員	248	318
	保育士	211	410		初任者研修	661	1,519
	社会福祉協議会専門員	19	21		実務者研修	270	657
	セラピスト (OT, PT)	31	55		セラピスト (OT, PT)	81	138
	看護職	284	441		看護師・准看護師・保健師	580	917
	事務職	75	94		管理栄養士・栄養士	54	64
	栄養士・調理員	100	150		調理師	26	31
	その他	152	184	教 員	95	207	
	合計	2,403	4,672	不 問	662	1,536	

項目	内 容	件数	人数	項目	内 容	件数	人数
勤 務 形態別	正職員	1,256	2,458	資格別 (複数回答)	その他	65	89
	非正職員	1,147	2,214		合計	4,079	7,986
	合計	2,403	4,672	所在地別	県北	461	762
			県央		1,039	1,885	
			県南		64	115	
			県西		660	1,420	
			鹿行		171	466	
			不問		8	24	
			合計		2,403	4,672	

④ 福祉人材センター利用状況集計表（紹介・採用数実績）

項目	内 容	紹介数	採用数	項目	内 容	紹介数	採用数
分野別	高齢者	108	63	職種別	介護職	63	38
	障害者	14	8		相談・支援・指導員	32	19
	障害者（身体）	2	1		介護支援専門員	5	4
	障害者（知的）	7	5		ホームヘルパー	2	2
	障害者（精神）	3	4		保育士	5	5
	児童	14	9		社会福祉協議会専門員	2	0
	社会福祉協議会（現業員含む）	28	18		セラピスト（OT・PT）	0	0
	その他	2	2		看護職	9	3
	合計	178	110		事務職	27	20
勤 務 形態別	正職員	72	39	栄養士・調理員	3	3	
	非正職員	85	62	その他	9	7	
	合計	157	101	合計	157	101	

※ 1事業所で複数の分野を運営していることがあるため、分野別合計は、勤務形態別合計及び職種別合計と一致しない。

⑤ 福祉人材センター利用状況（来所した方で、求職相談者を除く）

求人票の閲覧者数 144人（R4.4～R5.3）

⑥ 委員会等

実施時期	事業・会議名	事業概要（会議事項）	会場 (開催方法)	参加者
5. 3. 16	福祉人材センター 運営委員会	・正・副委員長の選出について ・令和4年度福祉人材センター事業執行状況について ・令和5年度福祉人材センターの事業計画について	ザ・ヒロサワ・ シティ会館分館	14人

⑦ 職員研修

実施時期	事業・会議名	事業概要（会議事項）	会場 (開催方法)	参加者
4. 4. 14	職業紹介責任者 講習会	・職業紹介事業の実施にあたり、1名以上の職業紹介責任者の配置が義務付けられていることから責任者の資格を得る。	ザ・ヒロサワ・ シティ会館分館	1人

※ 茨城県社会福祉協議会無料職業紹介所（茨城県福祉人材センター）職業紹介責任者が実施する「従事者に対する職業紹介の適正な遂行に必要な教育」の一環として職員の参加を促した。

⑧ 関係機関・団体との連携

実施時期	事業名	主催	会場 (開催方法)	相談者	本会参加
4. 5. 27	(仮称)茨城県介護分野留学生受入促進協議会設立総会	茨城県	県庁	—	1人
4. 6. 28 6. 30 7. 6 8. 8 10. 12	チャレンジいばらき就職面接会 (大好きいばらき就職面接会)	茨城県	ホテルビュー水戸 スペースU古河 ホテルアウト 筑波 ホテルビュー水戸 ホテルビュー水戸	19人 5人 5人 7人 14人	2人 2人 2人 2人 2人
4. 7. 19 7. 28 10. 21 11. 1 11. 8 11. 9 11. 29 5. 1. 26 2. 17	元気いばらき就職面接会	いばらき就職支援センター	水戸合同庁舎 土浦合同庁舎 龍大館ショッピングセンター つくば市役所 鹿嶋勤労文化会館 日立シビックセンター 筑西合同庁舎 土浦合同庁舎 水戸合同庁舎	4人 1人 1人 6人 2人 1人 1人 4人 3人	1人 1人 1人 1人 1人 1人 1人 1人 1人
4. 7. 22	茨城就職氷河期世代活躍支援プラットフォーム第4回会議	茨城労働局	ホテルビュー水戸	—	1人
4. 7. 27 ～ 9. 8	県立高等学校・県立中等教育学校進路指導主事会議	茨城県	動画配信	—	1人
4. 8. 26	茨城県介護分野留学生受入促進協議会第2回総会	茨城県	県庁	—	1人
4. 10. 24	2022 就職応援フェア	茨城労働局	ホテルビュー水戸	8人	2人
4. 11. 11 11. 16 11. 18 11. 22 11. 29 11. 30	介護就職デイ	ハローワーク	ハローワーク筑西 ハローワーク石岡 ハローワーク高萩 ハローワーク龍ヶ崎 ハローワーク常陸鹿嶋 ハローワーク古河	6人 8人 8人 2人 2人 3人	2人 2人 1人 1人 1人 1人
4. 12. 26	茨城県介護分野留学生受入促進協議会第3回総会	茨城県	県庁	—	1人
書面開催	福祉人材確保対策幹事会	茨城県	—	—	—
	福祉人材センター・ハローワーク連携事業連絡調整会	茨城労働局	—	—	—

⑨ 福祉系学校等の訪問

実施時期	訪問先	訪問数
4. 8. 29～ 12. 19	福祉系大学・専門学校等訪問	33校
4. 10. 3～5. 3. 6	介護職員初任者研修実施機関等訪問	11所
4. 10. 5～5. 3. 30	新設法人・事業所訪問	69法人・事業所

13 福祉・介護人材確保及び定着のための支援

(1) 福祉人材確保・定着支援事業

① 「中・高等学校福祉キャラバン隊」の実施

中学校数	高等学校数	参加者数
12校 (15コマ)	6校 (11コマ)	1,013名

② 職場体験事業の実施

事業概要	対象者
福祉・介護分野への就労に関心のある方を対象に、事前に福祉職場への雰囲気や介護内容等を体験する機会を提供する。	延2人 延2日

③ 介護職員初任者研修支援事業の実施

事業概要	対象者
介護関係の資格を有しない方で、介護施設・事業所に従事する者又は従事予定者が、介護職員初任者研修を受講する際に、費用の一部を助成。	139人

④ 福祉のお仕事カフェの開催

実施時期	事業・開催地区	事業概要（会議事項）	会場（開催方法）	参加者
4. 7. 31	福祉のお仕事カフェ“夏” (県央地区)	ふくし職場への就職希望者を対象に、求人事業所との就職面談や相談等を行った。	ホテルテラスザガーデン	35人
4. 8. 6	福祉のお仕事カフェ“夏” (県西地区)		ヤクルトはなももプラザ	18人
4. 8. 26	福祉のお仕事カフェ“夏” (鹿行地区)		レイクエコー	14人
4. 12. 25	福祉のお仕事カフェ“冬” (県北地区)		多賀市民会館	17人
5. 1. 7	福祉のお仕事カフェ“冬” (県南地区)		イーアスつくば	19人
5. 1. 15	福祉のお仕事カフェ“冬” (県央地区)		ホテルレイクビュー水戸	45人

⑤ 「ふくし職働」の開催

実施時期	事業・会議名	事業概要（会議事項）	会場（開催方法）	参加者
4. 11. 10	講義「介護の一日の流れ」他	ハローワークと共催で、介護入門講座を開催した。	ハローワーク水戸	16人
4. 11. 15	講義「介護職の魅力ややりがいについて」		ハローワーク土浦	18人
4. 11. 16	講義「認知症・高齢者に対する介護」		ハローワーク土浦	19人
4. 11. 21	講義「福祉の仕事の現状」		ハローワーク常陸大宮	3人
4. 12. 8	講義「福祉の仕事の現状」		ハローワーク日立	11人

⑥ フォローアップ強化事業の実施

事業概要（会議事項）	訪問箇所数等
定着支援アドバイザーが福祉事業所を訪問。福祉人材センターを通じて就職した方と面談を行うなどし、離職防止に努めた。	特別養護老人ホーム等 37箇所

⑦ 介護福祉士受験対策講座の開催

実施時期	事業概要（会議事項）	会場（開催方法）	視聴回数
4. 10. 11	高齢者福祉施設・事業所の現役介護職員のキャリアアップを目的とし、介護福祉士国家試験に向けた受験対策講座を録画配信で実施。筆記試験対策を行った。	(録画配信)	640回
10. 25			344回
11. 8			305回
11. 22			219回
12. 5			166回
12. 20			144回
5. 1. 10			262回
1. 24			160回
			参加者 128人

⑧ 潜在的有資格者等再就職支援事業の実施

事業概要（会議事項）	訪問箇所数等
離職した有資格の介護職を対象に、福祉人材センターへの登録を促し、福祉人材センターから就職活動に有益な情報提供を行っていくことで再就職を円滑に進める。	登録者数 531 人

⑨ 職場環境改善セミナーの実施

実施時期	講義名	事業概要（会議事項）	会場（開催方法）	参加者
4. 6. 23	初めての外国介護人材採用～絶対外せない3つのポイント	職員が長く働き続けることができるよう、福祉施設・事業所の経営者及び職員の意識を高めるため、勤務環境改善に関するセミナーを実施。	(オンライン)	19 人
4. 12. 15	人材確保につながる多様な働き方導入		(オンライン)	29 人
4. 12. 20	外国人人材の活用について		(オンライン)	18 人

⑩ フェイスブックの開設及び運用

- ・R4. 9. 1 に茨城県福祉人材センターフェイスブックを開設した。

いいね数	閲覧の多かった記事（上位5件）
76 回	<ul style="list-style-type: none"> ・ふくし“きらり人。”任命しました！ ・うえるわ〜く（8・9月合併号）を発行しました ・社会福祉施設等職員安全運転研修を開催しました ・社会福祉士実習指導者講習会を開催しました ・ふくし“きらり人。”取材してきました！

14 はんどちゃん人づくり研修等事業の実施

(1) 茨城県はんどちゃん人づくり研修事業協議会の開催

実施時期	事業・会議名	事業概要（会議事項）	会場（開催方法）	参加者
5. 1. 13	茨城県はんどちゃん人づくり研修事業協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度社会福祉事業従事者研修事業実績について ・令和5年度社会福祉事業従事者研修事業の基本的考え方について ・令和5年度社会福祉事業従事者研修事業計画案について ・研修システムの実施状況と階層別研修について 	(オンライン)	6 人

(2) 研修事業の実施

実施時期	事業・会議名	事業概要（会議事項）	会場（開催方法）	参加者
4. 4. 21 ～ 6. 19	社会福祉施設等 新任職員研修 A	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉制度の動向 ・記録の書き方 	(ライブ配信) (録画配信)	91 人
	新任職員研修 B			40 人
	新任職員研修 C			45 人
	新任職員研修 D			97 人
4. 5. 17 4. 5. 23	接遇マナー研修 A・B	<ul style="list-style-type: none"> ・接遇の基本 電話・接客応対、職場内コミュニケーション 	(ライブ配信)	134 人
4. 5. 18 ～ 6. 30	会計基礎研修	<ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉法人会計の基本的な知識 ・経営規定の解説と会計処理の流れ 	(オンライン) (録画配信)	51 人

実施時期	事業・会議名	事業概要（会議事項）	会場 (開催方法)	参加者
4. 6. 7	虐待にならないためのスピーチロック防止研修A	・スピーチロックを理解する ・スピーチロックの起こり得る要因・防止	(ライブ配信)	96人
4. 6. 14	リスクマネジメント研修 A(高齢・障害)	・リスクマネジメントの基礎 ・事故発生メカニズムの理解と分析	(ライブ配信)	95人
4. 6. 15	チームリーダー研修A	・リーダーとしてのチーム作りの必要性 ・リーダーシップを発揮できる思考・実践する能力を身に着ける	(ライブ配信)	90人
4. 6. 28	アンガーマネジメント研修	・アンガーマネジメントの基本 ・アンガーマネジメントの3のコントロール	(ライブ配信)	93人
4. 7. 4	メンタルタフネス研修	・考え方や行動を改善する手法 ・自己表現の仕方やコミュニケーションスキルを学ぶ	(ライブ配信)	89人
4. 7. 12	業務改善研修	・リーダーとして業務改善の視点を改善する ・業務果敢を推進できる手法の取得	(ライブ配信)	92人
4. 7. 20	社会福祉施設等 中堅職員研修A	・中堅職員に求められていること ・人材育成のポイント	(ライブ配信)	92人
4. 7. 26 ～ 7. 27	発達障害研修(子どもの支援)	・行動・発達が気になる子への視点と支援 ・発達が気になる子の身体特徴・行動事例	(ライブ配信)	74人
4. 6. 3 ～ 7. 29	伝える技術研修	・ビジネス文書のルールや慣用語の理解を深める ・文書の構成の仕方や、文書作成の留意点	(オンライン) (録画配信)	110人
4. 6. 24 ～ 7. 30	財務会計スキル活用研修	・社会福祉施設における経営の視点と管理者の役割 ・計算書類の読み方のポイント	(オンライン) (録画配信)	81人
4. 8. 9	コーチング研修A	・コーチングの必要性 ・コーチングに必要なスキルの習得	(ライブ配信)	83人
4. 8. 23	相談援助業務担当者研修	・相談の基礎を学ぶ ・相談者を理解する技術	県福祉会館	76人
4. 8. 26	社会福祉施設等 看護職員研修A	・施設における感染対策を実践するために看護職として必要なこと	(ライブ配信)	86人
4. 7. 28 ～ 8. 30	クレーム対応力強化研修A・B	・クレーム対応の基本と実践 ・クレームの予防と対策	(オンライン) (録画配信)	126人
4. 9. 8	福祉現場における 事業継続計画(BCP) 作成研修 A	・福祉事業における事業継続計画の基本 ・事業継続計画の立て方	(ライブ配信)	91人
4. 9. 10	社会福祉施設等職員 安全運転研修	・基本走行/スラローム走行/ブレーキング ・運転適性検査(CRT)/危険予測、事後評価	県福祉会館	16人
4. 9. 15 ～ 9. 16	ファシリテーション研修	・会議ファシリテーションの基本 ・会議を活性化・構造化する技術	(ライブ配信)	57人
4. 9. 4 9. 18	社会福祉士実習 指導者養成研修	・実習指導概論、実習マネジメント論、実習プログラミング論、実習スーパービジョン論	県福祉会館	30人
4. 9. 28	チームリーダー 研修B	・リーダーとしてのチーム作りの必要性 ・リーダーシップを発揮できる思考・実践する能力を身に着ける	(ライブ配信)	74人
4. 10. 12	虐待にならないためのスピーチロック防止研修B	・スピーチロックを理解する ・スピーチロックの起こり得る要因・防止	(ライブ配信)	95人
4. 10. 6 ～ 10. 14	発達障害研修 B(子どもの支援)	・行動・発達が気になる子への視点と支援 ・発達が気になる子の身体特徴・行動事例	(ライブ配信)	42人
4. 10. 26	社会福祉施設等 中堅職員研修B	・中堅職員に求められていること ・人材育成のポイント	(ライブ配信)	83人

実施時期	事業・会議名	事業概要（会議事項）	会場 （開催方法）	参加者
4. 11. 2	社会福祉施設等 看護職員研修B	・施設における感染対策を実践するために看護職として必要なこと	（ライブ配信）	59人
4. 11. 8	デジタル時代の 広報研修	・デジタル時代、コロナ渦の広報 ・広報の意味、目的を理解する	（ライブ配信）	45人
4. 11. 22	社会福祉施設等 保育担当職員研 修	・保護者とのコミュニケーション、職場内のコミュ ニケーション	（ライブ配信）	43人
4. 10. 3 ～11. 25	ハラスメント研 修	・ハラスメントの知識習得 ・ハラスメントと誤解されないかわり方	（オンライン） （録画配信）	146人
4. 11. 30	リスクマネジメ ント研修 B（高 齢・障害）	・リスクマネジメントの基礎 ・事故発生メカニズムの理解と分析	（オンライン） （録画配信）	89人
4. 12. 1	アンガーマネジ メント研修B	・アンガーマネジメントの基本 ・アンガーマネジメントの3のコントロール	（ライブ配信）	65人
4. 12. 5	メンタルタフネ ス研修B	・考え方や行動を改善する手法 ・自己表現の仕方やコミュニケーションスキルを学ぶ	（ライブ配信）	68人
4. 12. 13	記録の書き方研 修	・記録の必要性及び記録の書き方の理解	（ライブ配信）	91人
4. 11. 11 ～5. 1. 6	労務管理とコンプ ライアンス研修	・労務管理とコンプライアンスが必要な理由 ・労務ルール原則と労働時間について	（オンライン） （録画配信）	102人
5. 1. 18	自己肯定感を高 める研修	・自分を認めよりよい支援につながる自己肯定感基 礎講座	（ライブ配信）	47人
5. 1. 26	社会福祉施設等 中堅職員研修C	・中堅職員に求められていること ・人材育成のポイント	（ライブ配信）	43人
5. 2. 2	コーチング研修B	・コーチングの必要性 ・コーチングに必要なスキルの習得	（ライブ配信）	61人
5. 2. 9	福祉現場における 事業継続計画（BCP） 作成研修 B	・福祉事業における事業継続計画の基本 ・事業継続計画の立て方	（ライブ配信）	54人
5. 2. 17	社会福祉施設等管 理・代表者研修	・福祉経営に必要な視点を学ぶ ・地域と協働し、支援をもらえる組織の作り方	（ライブ配信）	57人
5. 2. 3 ～5. 3. 15	社会福祉施設等 給食担当職員研 修	・和食の基本・調理の工夫 ・福祉施設における食品衛生管理について ・高齢者施設の管理栄養士業務 ・こどもの給食栄養管理と食育	（オンライン） （録画配信）	100人
5. 1. 31 ～ 3. 25	決算実務講座	・決算準備作業と決算作業の流れ ・決算整理事項	（オンライン） （録画配信）	49人

15 修学資金等貸付事業の実施

（1）介護福祉士修学資金等貸付事業

資金種類	貸付実人数	貸付済額
介護福祉士修学資金	187人	153,630,000円
社会福祉士修学資金	10人	4,054,000円
介護福祉士実務者研修受講資金	197人	35,483,261円
離職介護人材再就職準備金	1人	392,743円
計	395人	193,560,004円

※ 社会福祉士修学資金には、福祉系大学分（3人、1,760,000円を含む）

(2) 保育士修学資金等貸付事業

資金種類	貸付実人数	貸付済額
保育士修学資金	388人	276,483,900円
未就学児保育料	63人	8,082,850円
潜在保育士就職準備金	27人	6,934,386円
保育補助者雇上費	7人	15,274,584円
計	485人	306,775,720円

(3) 児童養護施設退所者等自立支援資金貸付事業

資金種類	貸付実人数(延べ人数)	貸付済額
生活支援費	15人	8,300,000円
家賃支援費	20人	8,256,200円
資格取得支援費	6人	1,353,950円
計	27人(41人)	17,910,150円

(4) 保育・幼児教育人材復職支援事業

資金種類	助成実人数	助成金額
未就学児保育料一部助成金	35人	3,836,665円

16 地域福祉・ボランティアの推進

(1) 市町村社協への支援・援助

① 会議・研修会の開催

実施時期	事業・会議名	事業概要(会議事項)	会場(開催方法)	参加者
4. 6. 22	市町村社会福祉協議会地域福祉・ボランティア担当者会議	<ul style="list-style-type: none"> 行政説明「茨城県における地域福祉施策について」 基調説明「地域福祉・ボランティア等関連事業概要」 説明「令和4年度福祉のまちづくり推進部の実施事業について」 説明「高齢者向けeスポーツ普及事業について」 協議・情報交換 講義「eスポーツによる絆づくり」 eスポーツ体験会 	県福祉会館 大研修室	39人
4. 8. 30 4. 8. 31	コミュニティソーシャルワーク実践者養成研修(STEP1)	<ul style="list-style-type: none"> 講義「新たな社会福祉のシステムとコミュニティソーシャルワーク」等 演習「コミュニティソーシャルワークの視点による個別アセスメント」等 	県市町村会館 201会議室	10人
4. 9. 7	市町村社会福祉協議会経理担当研修会	<ul style="list-style-type: none"> 講義「行動経済学的アプローチによる不正防止のポイント」 講義「社会福祉協議会におけるインボイス制度の対応」 	県福祉会館 多目的ホール	50人
4. 11. 16	市町村社会福祉協議会専門研修	<ul style="list-style-type: none"> 講義・実践「オンライン会議のファシリテーション術」 	(オンライン)	16人
4. 11. 28 4. 11. 29	コミュニティソーシャルワーク実践者養成研修(STEP2)	<ul style="list-style-type: none"> グループコンサルテーション「受講者の事例を基に①、②」 ワークショップ「ネットワーク会議の実践～発表」 	県福祉会館 中研修室	10人

実施時期	事業・会議名	事業概要（会議事項）	会場 （開催方法）	参加者
4. 12. 9	茨城県内社会福祉協議会職員中堅研修	<ul style="list-style-type: none"> ・アイスブレイク「相手を知り、自分をアピールする名刺交換会」 ・講義「中堅社協マンはどこへ向かう？」 ・フォーラムディスカッション「こんなこと、あんなこと、その時どうした？」 ・オンライン講演「『組織のネコ』という働き方」 	県福祉会館 大研修室	36人
4. 12. 21	ボランティア担当者・ボランティアコーディネーター研修会	<ul style="list-style-type: none"> ・バズセッション「住民参加を進めるボランティアセンターをつくるための“じっくり協議”」 	県福祉会館 大研修室	14人
5. 1. 26	事業継続計画（BCP）策定研修会	<ul style="list-style-type: none"> ・講義「社会福祉協議会における事業継続計画策定の必要性」 ・グループワーク「事業継続計画策定・運用に向けた率直な思いの共有」 	県福祉会館 中研修室	19人
5. 2. 22	地域福祉推進セミナー	<ul style="list-style-type: none"> ・報告「茨城県ケアラー・ヤングケアラー実態調査の結果報告とアンケート結果から見えてきたこと」 ・基調講演「ヤングケアラーとその家族を地域で支えるまちづくりをめざして」 ・実践報告 <ul style="list-style-type: none"> 1 「ヤングケアラーの実際から考える」 2 「学校と福祉の連携について考える」 3 「地域で支える仕組みづくりについて考える」 	アダストリア みとアリーナ 会議室	53人
5. 3. 3	市町村社会福祉協議会労務担当研修会	<ul style="list-style-type: none"> ・講義「労務管理関連法令の内容と対応のポイントについて」 ・グループによる情報交換 	県福祉会館 多目的ホール	22人
5. 3. 24	市町村社会福祉協議会オンライン情報交換会	<ul style="list-style-type: none"> ・情報交換「介護保険事業所の運営・経営状況について、人材確保について」 	（オンライン）	13人

② 会議・研修会への協力

実施時期	事業・会議名	事業概要（会議事項）	会場 （開催方法）	参加者
4. 5. 26	支部社協運営委員会 （笠間市社協）	<ul style="list-style-type: none"> ・講話「これからの地域づくり」 	地域福祉センターともべA館	本会から 1人
4. 7. 21	役員・評議員研修会 （小美玉市社協）	<ul style="list-style-type: none"> ・講演「役員・評議員の役割と今後の社協の在り方について」 	玉里保健福祉センター	本会から 1人
4. 10. 25	地域福祉推進研修会 （那珂市社協）	<ul style="list-style-type: none"> ・講演「包括的支援体制の実現に向けて」 ・説明「那珂市における重層的支援体制整備事業の検討状況について」 	那珂市中央公民館	本会から 1人
4. 11. 15	地域の居場所づくり講座 （潮来市社協）	<ul style="list-style-type: none"> ・講話「気軽に・楽しく 居場所づくりをはじめよう♪」 	潮来保健センター	本会から 1人
4. 11. 30	地域の居場所づくり講座 （鹿嶋市社協）	<ul style="list-style-type: none"> ・講話「ふれあい・いきいきサロンのはじめ方」 	鹿嶋市総合福祉センター	本会から 1人

実施時期	事業・会議名	事業概要（会議事項）	会場 （開催方法）	参加者
5. 3. 7	ボランティア入門講座 （龍ヶ崎市社協）	・講話「ボランティア活動をはじめよう」 ・使用済み切手仕分け体験	龍ヶ崎市 地域福祉社会館	本会か ら1 人
5. 3. 23	ボランティア入門講座 （常陸大宮市社協）	・講義、ワーク「ボランティアとは？」 ・YouTube 視聴、講義「ボランティアに関する知識を深めよう」	おおみや コミュニティ センター	本会か ら1 人

③ 生活支援体制整備事業の推進

ア 生活支援体制整備事業研修会

- ・全体研修会
- ・新任者向け研修会

実施時期	事業・会議名	事業概要（会議事項）	会場 （開催方法）	参加者
4. 6. 23	基礎研修会	・行政説明「茨城県の生活支援体制整備事業について」 ・説明「生活支援コーディネーター活動支援に向けた取組みについて」	（オンライン）	162人

・現任担当者向け研修会（ブロック別）

実施時期	事業・会議名	事業概要（会議事項）	会場 （開催方法）	参加者
4. 7. 5(午前)	フォローアップ研修会(県央)	・講義「県内における生活支援体制整備事業運営上の課題への対策検討と共有」	(オンライン)	21人
4. 7. 5(午後)	フォローアップ研修会(稲北)			29人
4. 7. 7(午前)	フォローアップ研修会(県南)			27人
4. 7. 7(午後)	フォローアップ研修会(鹿行)			25人
4. 7. 11(午前)	フォローアップ研修会(県北)			31人
4. 7. 11(午後)	フォローアップ研修会(県西)			43人

・担当者研修会

実施時期	事業・会議名	事業概要（会議事項）	会場 （開催方法）	参加者
4. 9. 15	担当者研修会	・講義「生活支援コーディネーター向けファシリテーションの基礎」	(オンライン)	111人

イ 地域別研修会

・生活支援コーディネーター第1回連絡会議（ブロック別）

実施時期	事業・会議名	事業概要（会議事項）	会場 （開催方法）	参加者
4. 8. 24(午前)	第1回連絡会議(県央)	・1部：情報共有（今年度の生活支援体制整備事業の活動概要） ・2部：意見交換会（話題提供者を中心に日頃の活動課題等）	(オンライン)	21人
4. 8. 24(午後)	第1回連絡会議(稲北)			21人
4. 8. 26(午前)	第1回連絡会議(県南)			26人
4. 8. 26(午後)	第1回連絡会議(鹿行)			18人
4. 8. 29(午前)	第1回連絡会議(県北)			22人
4. 8. 29(午後)	第1回連絡会議(県西)			41人

・生活支援コーディネーター第2回連絡会議（ブロック別）

実施時期	事業・会議名	事業概要（会議事項）	会場 （開催方法）	参加者
4.10.11	第2回連絡会議(稲北)	1部：進捗状況報告(第1回 連絡会議以降) 2部：意見交換(ブロック毎 の事例発表に対し質 問と回答を繰り返し 今後の活動に活かす)	龍ヶ崎市馴染コミュニティセンター	21人
4.10.13	第2回連絡会議(県央)		県福祉会館	10人
4.10.18	第2回連絡会議(県南)		土浦合同庁舎	24人
4.10.21	第2回連絡会議(鹿行)		鹿行生涯学習センター	16人
4.10.25	第2回連絡会議(県北)		常陸太田市交流センターふじ	13人
4.10.27	第2回連絡会議(県西)		下妻公民館	37人

・生活支援コーディネーター第3回連絡会議（ブロック別）

実施時期	事業・会議名	事業概要（会議事項）	会場 （開催方法）	参加者
5.2.2(午前)	第3回連絡会議(県央)	1.参加自治体からの報告と質問 2.ポイント整理 次年度の本事業指針検討に向けた、 制度の振り返り 3.ワーク 各自治体はそれぞれの会場で、現状 の課題の確認と、次年度の本事業推進 に向けた戦略について検討	(オンライン)	27人
5.2.2(午後)	第3回連絡会議(稲北)			25人
5.2.8(午前)	第3回連絡会議(県南)			37人
5.2.8(午後)	第3回連絡会議(鹿行)			20人
5.2.9(午前)	第3回連絡会議(県北)			22人
5.2.9(午後)	第3回連絡会議(県西)			37人

・生活支援コーディネーター第4回連絡会議（2ブロック合同）

実施時期	事業・会議名	事業概要（会議事項）	会場 （開催方法）	参加者
5.3.6	合同連絡会議(県央・県西)	・「出会いのワーク」 ・「コーディネーションの質を高め るためにチャレンジ」 ・「課題解決に向けて・意見交換」	地域交流センターともべ	39人
5.3.8	合同連絡会議(県南・稲北)		土浦合同庁舎	37人
5.3.14	合同連絡会議(県北・鹿行)		県福祉会館	20人

・市町村の取組支援

a) 市町村の情報収集・個別支援、延べ14市町村訪問実施済

5/9 筑西市(井戸端カフェ)、5/19 牛久市(第1層協議体)、5/23 筑西市(第2層協議体)、5/30 小美玉市(第2層協議体)、6/2 水戸市(地域いきいきコミュニティトーク)、6/5 石岡市(炊き込みご飯イベント)、7/20 潮来市(第1層協議体立上げ)、7/22 神栖市(中学校区協議体)、8/5 小美玉市(いいわネットおみたま)、8/18 稲敷市(第2層協議体)、9/29 五霞町(居場所づくり養成講座)、10/4 阿見町(阿見町社協映像)、10/4 つくば市(地域絆フォーラム)、3/1 筑西市(笑みの会)

b) 市町村現況等ヒアリング（電話、Zoomによる）、44市町村実施済

c) 市町村等電話等による相談、7市町村1団体

ひたちなか市(つくば市SC紹介⇒視察実施)、下妻市2件(行方SC紹介⇒講師として協力、フォーラム講師紹介)、潮来市2件(小美玉市第1層協議体紹介⇒視察実施、アドバイザー紹介)、常陸大宮市、鹿嶋市、神栖市、阿見町、ウェルシア薬局

d) SC間のネットワーク構築

情報提供や収集、「県内の生活支援コーディネーター活動紹介」facebook 投稿36件・シェア39件、生活支援体制整備事業webサイトアクセス数2,395件、生活支援コーディネーター活動紹介映像制作

④ 調査

ア ボランティア体験月間への取組み調査

体験月間（7～8月）における市町村社協等主催の青少年（児童・生徒等）のボランティア活動の実態を市町村社協に調査依頼。県社協でとりまとめて冊子にし、県・市町村社協・関係団体等に配付。

※ 県内44市町村のうち、36市町村において80の事業を実施

イ ボランティア把握状況調査

市町村社協で把握・登録しているボランティアの団体数・個人数及び具体的な活動内容の調査を市町村社協に依頼。県社協で取りまとめ、県・市町村社協・関係団体等にメール送信し、ボランティアの実態把握と活動促進等に活用。

※ ボランティア把握団体数2,900団体 把握人数90,698人

⑤ 相談事業

主な相談内容：役員会運営、会計処理、事業運営、講師紹介、視察先紹介 他

⑥ 助成事業

いばらきコープ生活協同組合からの寄付金等を財源に、市町村社会福祉協議会が行うコロナ禍による生活困窮者（世帯）に対する生活支援及び地域におけるつながりづくりのための事業費を助成した。

助成数：延30市町村社協 助成額：7,019,656円

⑦ 団体への協力

- ・茨城県市町村社会福祉協議会事務局長会への協力
- ・茨城社会福祉協議会職員連絡協議会への協力
- ・茨城県防災ボランティアネットワークへの協力

⑧ 地域福祉活動アドバイザー等事業

- ・地域福祉活動アドバイザー2人を委嘱
- ・牛久市・神栖市・大洗町・茨城町社協主催講座への派遣調整
- ・ボランティア活動アドバイザー1人を委嘱
- ・潮来市・かすみがうら市社協主催講座への派遣調整
- ・防災活動アドバイザー3人を委嘱
- ・本会防災事業への参加と指導
- ・古河市社協主催講座への派遣調整

(2) 福祉コミュニティづくり県民運動の推進

① 会議・研修会の開催

実施時期	事業・会議名	事業概要（会議事項）	会場 （開催方法）	参加者
4. 5. 27	第1回はんどちゃん運動推進委員会	・はんどちゃんネットワーク運動サロン活動応援助成金の募集要項(案)について ・サロンにおけるオンライン導入サロン(ICTツール)活用に関する情報交換会実施(案) ・サロン活動におけるeスポーツの推進に関する検討	水戸市国際交流センター多目的室	11人
4. 8. 19	第2回はんどちゃん運動推進委員会	・福祉コミュニティづくり推進のつどいについて	(オンライン)	10人
4. 9. 16	第3回はんどちゃん運動推進委員会	・はんどちゃんネットワーク運動サロン活動応援助成金審査 ・福祉コミュニティづくり推進のつどいについて	県福祉会館多目的ホール	10人
4. 10. 6	オンライン等を活用しているふれあい・いきいきサロン情報交換会	・説明「事前アンケートまとめ」 ・実践報告「オンライン活用のメリットについて」 ・グループによる情報交換	(オンライン)	30人

実施時期	事業・会議名	事業概要（会議事項）	会場（開催方法）	参加者
①4. 11. 21 ②4. 12. 6 ③4. 12. 16 ④4. 12. 23	福祉コミュニティづくり推進のつどい	<ul style="list-style-type: none"> ・基調報告「今こそみんなとつながろう～これからも楽しくサロン活動を続けていくには～」 ・サロン活動者からの実践報告 ・グループによる情報交換 ※地区ごとに4か所で開催	①ホテル天地閣 ②フェリヴェールサンシャイン ③茨城県霞ケ浦環境科学センター ④筑西市総合福祉センター	①47人 ②73人 ③30人 ④48人
5. 1～3月	サロン訪問	令和4年度はんどちゃんネットワーク運動サロン活動応援助成被助成団体14団体訪問	各サロン会場	
5. 3. 22	第4回はんどちゃん運動推進委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度のはんどちゃん運動の取り組みについて ・令和5年度のはんどちゃん運動の取り組みについて ・令和5年度助成事業について 	県福祉会館 多目的ホール	9人

② 広報・啓発

- ・『サロン活動実践事例集』の発行
- ・はんどちゃんオリジナルグッズ（のぼり、ハンドタオル）の作成

(3) 福祉教育関係事業

① 会議・研修会の開催

実施時期	事業・会議名	事業概要（会議事項）	会場（開催方法）	参加者
4. 5. 25	第3回福祉教育検討会議	<ul style="list-style-type: none"> ・今後の検討課題について ・アンケートの実施について ・令和4年度福祉教育推進セミナーについて 	県福祉会館 ボランティア会議室	9人
5. 1. 18	第4回福祉教育検討会議	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度全国福祉教育推進員研修について ・令和4年度福祉教育推進セミナーについて ・「福祉教育の取り組みに関する調査」結果(概要)について ・「福祉教育の取り組みに関する調査」結果を受けて 	県福祉会館 ボランティア会議室	9人
5. 2. 7	福祉教育推進セミナー	<ul style="list-style-type: none"> ・報告「福祉教育の取り組みに関する調査」集計結果(概要)について ・基調講演「交流及び共同学習のポイント・進め方」 ・グループワーク「福祉教育プログラムづくり」 	アダストリア 水戸アリーナ 会議室	42人

② 調査

「福祉教育の取り組みに関する調査」（令和4年9月～10月実施）

(4) 市町村社協との連携

会議・研修会等出席回数	事業概要（会議事項）
106回	市町村社協の組織・活動の強化促進を図るため、事務局体制の整備、地域福祉活動・ボランティア活動の支援・連携を図った。

(5) 関係機関、団体等との連携

会議・研修会等出席回数	事業概要（会議事項）
109回	行政、関係団体、学校等の主催する講座・研修・会議等に本会職員が出席し、連携を図った。

(6) 出前講座

実施時期	事業・会議名	事業概要（会議事項）	会場 (開催方法)	参加者
4. 6. 22 6. 23	ふくし教室 (水戸市立緑岡小)	・講義「ふくしについて」 ・体験学習(車いす体験、アイマスク・白杖体験)	水戸市立緑岡小学校	本会から1人
4. 8. 1	福祉教育推進担当者会議 (守谷市社協)	・講義「福祉教育のヒント」 ・実習「身近なバリアフリー」	守谷市中央公民館	本会から1人
4. 10. 15	いばらき防災大学 (水戸会場)	・講義「災害とボランティア活動」	茨城県トラック協会	本会から1人
5. 1. 17	福祉・介護教室 (翔洋学園高校)	・講義「福祉について」 ・体験教室(アイマスク体験、車いす体験)	翔洋学園高校	本会から1人
5. 2. 5	いばらき防災大学 (古河会場)	・講義「災害とボランティア活動」	野本電設工業コスモスプラザ	本会から1人

(7) 委員会等への参加

実施時期	事業・会議名	事業概要（会議事項）	会場 (開催方法)	参加者
4. 7. 8	第1回ひたちボランティアプラザ運営委員会	・委員の変更について ・令和3年度ひたちボランティアプラザ事業実施報告について ・令和4年度ひたちボランティアプラザ事業実施計画について ・「善意銀行」預託払出し状況について	福祉プラザ	本会から1人
4. 7. 15	第5次東海村地域福祉活動計画並びに第4次東海村社協発展強化計画協働ワーキング会議	・第4次東海村社会福祉協議会発展・強化計画策定の実施計画について	東海村総合福祉センター「絆」	本会から1人
4. 7. 26	第92回全国ボランティア・市民活動振興センター運営委員会	・社協ボランティアセンター推進方策の検討について ・2022年度全国ボランティア・市民活動振興センター事業について	オンライン	本会から1人
4. 8. 22	第1回取手市社会福祉協議会運営委員会	・第二次地域福祉活動計画「2022年度実行計画」の内容及び進捗状況について ・第三次地域福祉活動計画策定について	取手市福祉交流センター	本会から1人
4. 9. 11	県生涯学習・社会教育研究会第1回運営委員会	・第44回全国公民館研究集会・第62回関東甲信越静公民館研究大会茨城大会 第8回関東近県生涯学習・社会教育実践研究交流会について ・会員研修会について ・実践事例集「社会教育交差点第6号」について ・広報紙「みんなで学ぶ生涯学習」について	県水戸生涯学習センター	本会から1人

実施時期	事業・会議名	事業概要（会議事項）	会場 （開催方法）	参加者
4. 12. 8	第2回ひたちボランティアプラザ運営委員会	・正副委員長の選出について ・「善意銀行」預託払出し状況について ・令和4年度ひたちボランティアプラザ事業の実施状況について	福祉プラザ	本会から1人
4. 12. 21	第93回全国ボランティア・市民活動振興センター運営委員会	・社協ボランティアセンター推進方策の検討について ・次年度全国ボランティアセンター・市民活動振興センター事業について	オンライン	本会から1人
5. 2. 14	那珂市地域福祉活動計画推進委員会	・正副委員長選任 ・地域福祉活動計画および社協発展・強化計画について ・評価手法・成果目標の設定について	那珂市役所 瓜連支所 分庁舎	本会から1人
5. 2. 27	第2回取手市社会福祉協議会運営委員会	・第二次地域福祉活動計画「2022年度実行計画」の進行管理の状況報告について	取手市 福祉交流 センター	本会から1人

(8) ボランティア・市民活動振興対策事業

① 特定非営利活動法人 茨城NPOセンター・コモンズとの連携・協働

- ・理事会への出席4回
- ・花王・ハートポケット倶楽部「地域助成」第1次審査への協力
- ・ケアラー支援団体情報をまとめた冊子・データベース発行に向けた検討委員会への出席2回

② ボランティア・市民活動フォーラム

実施時期	事業・会議名	事業概要（会議事項）	会場 （開催方法）	参加者
5. 3. 1	ボランティア・市民活動フォーラム2023～つながって幸せ“四方”善し ウェルビーイングを実感する茨城ボランティアズ～	・特別講義 安心してつながる衛生管理「感染症の基礎と予防」 ・基調講演「だれも排除しない地域づくりに向けて」 ・シンポジウム「多様な地域のつながりづくりを行う茨城ボランティアズを理解しよう！」	ホテルレイクビュー水戸	72人

(9) 災害ボランティア関係事業

① いばらき型災害ボランティアセンター運営支援システム（通称：IVOS）の運用

「いばらき型災害ボランティアセンター運営支援システム（通称：IVOS）」を運用し、発災時の円滑なボランティア活動に備えると共に、市町村社協等に対し、その概要および操作方法について研修を実施した。

② IVOS説明会の開催

実施時期	事業・会議名	会場（開催方法）	参加者
4. 5. 12	石岡市社協 IVOS操作研修	石岡市社協	7人
4. 5. 23	下妻市社協 IVOS操作研修	福祉センター砂沼荘	18人
4. 6. 13	水戸市社協 IVOS操作研修	水戸市社協	18人
4. 7. 13	県西地区局長会 IVOS概要説明	八千代町社協	9人
4. 10. 26	防災ボランティア有志会勉強会	(オンライン)	9人
4. 11. 18	職連協 那珂支部 IVOS操作研修	ひたちなか市社協	24人
4. 12. 22	筑西市社協 IVOS操作研修	筑西市社協	22人

実施時期	事業・会議名	会場（開催方法）	参加者
5. 1. 28	下妻市令和4年度災害ボランティアセンター運営訓練	福祉センター砂沼荘	55人
5. 2. 17	市町村社協事務局長会	(オンライン)	89人
5. 3. 9	土浦市社協 I V O S 操作研修	土浦市社協	30人
5. 3. 27	I V O S オンライン研修	(オンライン)	37人

③ 研修会等の開催

実施時期	事業・会議名	事業概要（会議事項）	会場（開催方法）	参加者
4. 6. 20	「災害初動期対応チーム」メンバー養成研修会(1日目)	<ul style="list-style-type: none"> ・基調説明「『災害初動期対策チーム』メンバー養成研修のねらい」 ・講義「新型コロナウイルス禍における災害ボランティアセンター運営支援の心構え」 ・講義「災害ボランティアセンターにおける情報発信・管理の重要性」 ・講義「なぜ社会福祉協議会が災害支援に取り組むのか」 	県福祉会館 中研修室	29人
4. 7. 10	災害ボランティアセンター運営訓練・防災ボランティアリーダー養成研修会 (龍ヶ崎市社協共催)	<ul style="list-style-type: none"> ・講義「災害ボランティアセンターのこれから(IVOS アイボス)について」 ・講演「災害ボランティアセンターを通じた地域のつながり」 ・訓練「災害ボランティアセンター運営訓練」 	龍ヶ崎市 地域福祉会館	44人
4. 7. 11	災害ボランティアセンター運営者研修(1日目)	<ul style="list-style-type: none"> ・講義「過去の災害の振り返りと令和元年台風19号災害ボランティアセンター」 ・講義「災害に関する基礎知識と心得」 ・講義「災害ボランティアセンターに関する基礎知識と心得」 ・演習「被災者の置かれている状況の理解」 ・講義「災害ボランティアセンターのしくみ」 	水戸市福祉 ボランティア 会館	52人
4. 7. 22	「災害初動期対応チーム」メンバー養成研修会(2日目)	<ul style="list-style-type: none"> ・講義「社協・行政・NPO等との連携・協働の意義」 ・講義「茨城県内でのつながりを備える力に！」 ・意見交換会「今晚災害が発生。明日支援に参加することになったなら」 	県福祉会館 中研修室	29人
4. 7. 24	災害ボランティアセンター運営訓練・防災ボランティアリーダー養成研修会 (常陸太田市社協共催)	<ul style="list-style-type: none"> ・講義「災害ボランティアセンターのこれから」 ・講演「災害ボランティアセンターを通じた地域のつながり」 ・訓練「災害ボランティアセンター運営訓練」 	交流センター ふじ	20人
4. 7. 25	災害ボランティアセンター運営者研修(2日目)	<ul style="list-style-type: none"> ・訓練、解説「災害ボランティアセンターの運営訓練」 ・演習「災害ボランティアセンターのレイアウト検討」 	水戸市福祉 ボランティア 会館	52人

実施時期	事業・会議名	事業概要（会議事項）	会場 (開催方法)	参加者
5. 1. 21	災害ボランティアセンター運営訓練・防災ボランティアリーダー養成研修会 (小美玉市社協共催)	<ul style="list-style-type: none"> ・説明「災害ボランティアセンター運営訓練概要について」 ・講義「災害ボランティアセンター運営のこれから」 ・講義「災害ボランティアセンターを通じた地域のつながり」 ・訓練「災害ボランティアセンター運営訓練」 	小美玉市玉里保健福祉センター	61人
5. 2. 11	災害ボランティアセンター運営訓練・防災ボランティアリーダー養成研修会 (北茨城市社協共催)	<ul style="list-style-type: none"> ・説明「災害ボランティアセンターにおけるICT導入について」 ・講義「災害ボランティアセンターを通じた地域のつながり」 ・訓練「災害ボランティアセンター運営訓練」 	北茨城市生涯学習センターとれふる	35人
5. 3. 11	災害ボランティアセンター運営訓練・防災ボランティアリーダー養成研修会 (利根町社協共催)	<ul style="list-style-type: none"> ・講義「災害ボランティアセンターにおけるICT導入について」 ・講義「災害ボランティアセンターを通じた地域のつながり」 ・訓練「災害ボランティアセンター運営訓練」 	利根町民すこやか交流センター	41人
5. 3. 13	「災害初動期対応チーム」ステップアップ研修会	<ul style="list-style-type: none"> ・活動報告「コロナ禍における支援活動」 ・講義「『社協』だからこそ出来る、災害への備えと被災者支援」 	県青少年会館	31人

④ 災害ボランティアセンター用資機材ストックヤードの管理

災害ボランティアセンター用資機材ストックヤード収納資機材の点検・確認を行った。

No.	地域	市町村	設置協力法人
1	県北臨海	日立市	社会福祉法人日立市社会福祉協議会
2	県北山間	常陸太田市	社会福祉法人誉田会
3	県北山間	常陸大宮市	社会福祉法人仁川会
4	県央	水戸市	社会福祉法人茨城県社会福祉協議会
5	県西	古河市	社会福祉法人和風会
6	県西	筑西市	社会福祉法人関耀会
7	県南	つくば市	社会福祉法人関耀会 社会福祉法人つくば市社会福祉協議会
8	県南	かすみがうら市	社会福祉法人明岳会
9	鹿行	鹿嶋市	社会福祉法人鹿嶋市社会福祉協議会

⑤ 災害ボランティア支援の特設サイト「災ボラ STANBY」の運営

災害時のボランティア活動を支援する特設サイト「災ボラ STANBY」を県と共同運営し、「災害ボランティア講座」等の情報発信を行った。

また、当サイトにおいて募集している「茨城県災害ボランティア登録」及び「茨城県災害ボランティア団体登録」の登録促進を行った。

(10) 茨城県防災ボランティアネットワーク関係

実施時期	事業・会議名	事業概要（会議事項）	会場 （開催方法）	参加者
4. 6. 3	第1回防災ボランティアネットワーク世話人会	<ul style="list-style-type: none"> 令和3年度事業報告について 茨城県防災ボランティアネットワーク活性化に向けた検討結果 令和4年度事業計画(案)について 	(オンライン)	9人
4. 7. 12	防災ボランティアネットワーク総会	<ul style="list-style-type: none"> 令和3年度事業報告について 茨城県防災ボランティアネットワーク活性化に向けた検討結果 令和4年度事業計画(案)について 	県福社会館 大研修室 (対面及びオンライン)	16人
4. 10. 26	第2回防災ボランティアネットワーク世話人会	<ul style="list-style-type: none"> ネットワークの活性化に係る本年度事業について 	県福社会館 小研修室A	7人
4. 11. 15	オンライン雑談会	<ul style="list-style-type: none"> 静岡市災害支援の報告 参加者による団体紹介 等 	(オンライン)	13人
4. 12. 15	オンライン雑談会	<ul style="list-style-type: none"> 参加者による団体紹介 令和元年度の災害以降の地域住民の防災意識についての話題 自主防災組織の取組に関する講演会についての話題 	(オンライン)	10人
5. 1. 16	オンライン雑談会	<ul style="list-style-type: none"> 参加者による団体紹介 実施、参加したイベントの報告、感想 	(オンライン)	7人
5. 2. 15	第3回防災ボランティアネットワーク世話人会	<ul style="list-style-type: none"> 団体概要について Facebook について Zoom サロンについて 新規会員について 研修会の実施について 	県福社会館 団体会議室	7人
5. 2. 15	オンライン雑談会	<ul style="list-style-type: none"> オンライン雑談会の方針について 防災ボランティアネットワークの構成団体について 県内のNPO団体について 	(オンライン)	4人
5. 3. 15	オンライン雑談会	<ul style="list-style-type: none"> 「令和4年度防災ボランティアネットワーク研修会(3月23日開催)」で知りたいこと、聞いてみたいこと 等 	(オンライン)	4人
5. 3. 23	茨城県防災ボランティアネットワーク研修会	<ul style="list-style-type: none"> 講義「災害時の多機関協働について」 	ザ・ヒロサワ・シティ会館 集会室10	16人

(11) 善意金（寄付金）の受入と指定払い出し及び助成

社会福祉への善意の寄付金により、県内の福祉施設・団体等への指定払い出しを行うほか、小規模団体等からの申請により事業費助成を行った。

① 善意金の預託

	金額	備考
寄付金	11,711,481円	33件(②預託内訳のとおり)
前年度繰越金	7,362,477円	
合計	19,073,958円	A(④の払い出し準備金へ)

② 善意金の預託内訳と払い出し金額及び払い出し先

預託者名	金額	指定払出先
(株)ライズ(5件)	37,688円	茨城県社会福祉協議会(法人運営)
東洋羽毛北関東販売株式会社	300,000円	茨城県社会福祉協議会(法人運営)

預託者名	金額	指定払出先
世界チョコレートフェスティバル実行委員会	60,000円	茨城県心身障害者福祉協会
野木利三郎(3件)	60,000円	茨城県社会福祉協議会(法人運営)
匿名	30,000円	茨城県社会福祉協議会(交通遺児福祉基金)
茨城県遊技業防犯協力会	300,000円	茨城県いのちの電話
	50,000円	茨城県身体障害者福祉団体連合会
	50,000円	茨城県視覚障害者協会
	50,000円	茨城県聴覚障害者協会
	50,000円	茨城県身体障害者福祉協議会
	50,000円	茨城県肢体不自由児者父母の会連合会
	50,000円	茨城県手をつなぐ育成会
	50,000円	茨城県母子寡婦福祉連合会
匿名(3件)	361,992円	茨城県社会福祉協議会(法人運営)
(一財)関東陸運振興センター茨城支部	1,000,000円	茨城県社会福祉協議会(交通遺児福祉基金)
茨城県自動車整備業界ゴルフ大会	160,000円	茨城県社会福祉協議会(交通遺児福祉基金)
水戸ヤクルト販売(株)	150,000円	茨城県社会福祉協議会(はんどちゃんネットワーク勸)
古河ヤクルト販売(株)	100,000円	茨城県社会福祉協議会(はんどちゃんネットワーク勸)
(一社)日本自動車販売協会連合会	1,000,000円	茨城県社会福祉協議会(交通遺児福祉基金)
いばらきコープ生活協同組合	3,000,000円	茨城県社会福祉協議会(市町村社協支援)
(公財)茨城新聞文化福祉事業団	1,000,000円	茨城県社会福祉協議会(法人運営)
(公財)生命保険ファインシャルアドバイザー協会茨城県協会	100,000円	茨城県社会福祉協議会(交通遺児福祉基金)
茨城三田会 早稲田大学校友会茨城県支部	100,000円	茨城県社会福祉協議会(法人運営)
内原地区教育事情懇談会	17,396円	茨城県社会福祉協議会(交通遺児福祉基金)
J S A中核会茨城支部	198,100円	茨城県社会福祉協議会(交通遺児福祉基金)
損害保険ジャパン(株)茨城支店	19,810円	茨城県社会福祉協議会(交通遺児福祉基金)
(株)明送	100,000円	茨城県社会福祉協議会(交通遺児福祉基金)
茨城県PTA連絡協議会	60,000円	茨城県視覚障害者協会
	60,000円	茨城県手をつなぐ育成会
	60,000円	茨城県肢体不自由児者父母の会連合会
	120,000円	茨城県社会福祉協議会(交通遺児福祉基金)
小計a 29件(指定払い出し寄付金)	9,594,986円	B(④の指定払い出し金額へ)
丸大食品(株)(2件)	16,495円	茨城県社会福祉協議会(善意金)
野木利三郎	100,000円	茨城県社会福祉協議会(払出先未定)
日本騎手クラブ	2,000,000円	茨城県社会福祉協議会(払出先未定)
小計b 4件(善意金及び払出先未定分)	2,116,495円	
合計	11,711,481円	33件

③ 申請による善意金助成

申請者及び助成先	助成金額	備考
つくばけやきっず	50,000円	一般配分
特定非営利活動法人 セカンドリーグ茨城	50,000円	一般配分
古河市ボランティア団体 はぴ育ママーズ	50,000円	一般配分
合計 3ヶ所	150,000円	C(④の善意金助成金額へ)

④ 善意金繰越金(払い出し可能金額)

	金額	備考
払い出し準備金	19,073,958円	A(①の合計金額)
指定払い出し金額	9,594,986円	B(②の小計a金額)
申請による善意金助成金額	150,000円	C(③の合計金額)
事務費	124,560円	D
次年度繰越金額	9,204,412円	A-(B+C+D)

(12) 善意品（寄贈物品）の受入と払い出し

- ① 社会福祉への善意の寄贈品を、指定された県内の福祉施設・団体等に払い出しを行った。
善意品の預託と指定払い出し状況

内 容（預託者）	件数	数 量 等	指 定 払 出 先
使用済み切手(外国切手等含む)	182 件	約 3,742,768 枚	令和 4 年度換金額 571,320 円 (ボランティア基金へ)
使用済みカード	66 件	約 22,812 枚	
ハガキ	33 件	約 4,493 枚	
ランドセル(匿名)	1 件	33 個	市町村社協 3 か所
食品・日用品 ((株)セブン-イレブン・ジャパン)	3 件	—	市町社協 3 か所
茨城ロボッツ(プロバスケットボール)公式戦観 戦招待(いばらきコープ生活協同組合)	1 件	28 名	社会福祉施設 1 か所
不織布マスク((特非)Happy リレーいろいろ)	1 件	50 枚入×40 箱	茨城県社協
アルコールハンドジェル ((特非)Happy リレーいろいろ)	1 件	500ml×20 本	茨城県社協
子ども用紙おむつ等 (いばらきコープ生活協同組合)	2 件	569 袋他	社会福祉施設 2 か所 市町社協 2 か所
第 52 回 ENEOS 童話賞作品集「童話の花束(その 52)」(ENEOS ホールディングス(株))	1 件	50 冊	NPO 法人 1 か所
食品・日用品等(天台宗茨城仏教青年会)	1 件	玄米等 875 k g 食品等 1,332 点	市町社協 6 か所
車いす((株)ツルハホールディングス・クラシエ ホールディングス(株))	1 件	5 台	社会福祉施設 3 か所
カレンダー((公財)報知社会福祉事業団)	1 件	10 部	茨城県児童福祉施設協議会
木下大サーカス観覧招待券 ((公財)報知社会福祉事業団)	1 件	50 枚	社会福祉施設 3 か所
ポータブル電源及びソーラーパネル (常陽ボランティア倶楽部)	1 件	各 1 台	茨城県社協
食品((株)セブン-イレブン・ジャパン)	1 件	—	社会福祉施設 17 か所 県社協及び市町社協 21 か所
クリスマスチャリティー公演観覧招待(劇団四季 ミュージカル「人間になりたがった猫」) (全日産販売労働組合 茨城日産自動車労組)	1 件	203 名	社会福祉施設 7 か所 特別支援学校 2 か所
軽自動車(福祉巡回車) ((一社)生命保険協会茨城県協会)	1 件	3 台	市町社協 3 か所
不織布マスク(匿名)	1 件	50 枚入×180 箱	茨城県社協
飲料水(匿名)	1 件	—	社会福祉施設 24 か所 県社協及び市町社協 4 か所
不織布マスク(匿名)	1 件	—	市社協 1 か所

- ② 社会福祉貢献活動に係る寄贈品に関する協定に基づく商品寄贈

(株)セブン-イレブン・ジャパン・県・本会の 3 者において、R2.3.31 に締結した「社会福祉貢献活動に係る寄贈品に関する協定」に基づき、下記 34 市町村社協に商品寄贈を行った。

守谷市、境町、潮来市、龍ヶ崎市、茨城町、ひたちなか市、東海村、日立市、那珂市、坂東市、結城市、行方市、神栖市、常陸大宮市、桜川市、大洗町、阿見町、小美玉市、稲敷市、高萩市、北茨城市、銚田市、下妻市、牛久市、河内町、大子町、常総市、美浦村、利根町、八千代町、笠間市、古河市、土浦市、筑西市（寄贈日順）

(13) ボランティア基金事業

基金利息及び指定寄付により、県内のボランティア・市民活動団体等や市町村社協に対する活動費の助成を行った。

① ボランティア基金への預託等

	金額	備考
寄 付 金	0 円	
基金利息収入	11,338,760 円	債券、国債等利息
使用済み切手換金収入等	571,320 円	年度内4回換金
合計	11,910,080 円	B (③の払い出し準備金へ)

② ボランティア基金の払出

	助成内訳	助成金額	備考
ボランティア団体助成	11 団体	3,920,864 円	
市町村社協ボランティアセンター助成	29 社協	8,383,661 円	
合計		12,304,525 円	C (③の払い出し金額へ)

③ ボランティア基金繰越金 (払い出し可能金額)

	金額	備考
前年度繰越金 (積立金)	48,230,248 円	A
払い出し準備金	11,910,080 円	B (①の合計金額)
払い出し金額	12,304,525 円	C (②の合計金額)
事務費	1,667,749 円	D
次年度繰越金額	46,168,054 円	(A + B) - (C + D)

(14) 交通遺児福祉基金事業

預託金及び基金利息により、県内の交通遺児に対し就学奨励金 (小学校卒業時 70,000 円/人・中学校卒業時 80,000 円/人) 及びの贈呈を行った。

① 交通遺児福祉基金への預託等

	金額	備考
寄 付 金	2,745,306 円	10 件 (善意金経由)
基金利息収入	2,300,000 円	債券、国債等利息
合計	5,045,306 円	B (③の払い出し準備金)

② 交通遺児福祉基金の払出

	金額	備考
就 学 奨 励 金	1,350,000 円	合計 19 人 (小学校卒業 9 人・中学校卒業 10 人)
激 励 金	1,200,000 円	6 人 (一人 200,000 円)
ナスバコンテスト助成	12,000 円	6 人 (図書カード 2,000 円×6 人)
合計	2,562,000 円	C (③の払い出し)

③ 交通遺児福祉基金繰越金 (払い出し可能金額)

	金額	備考
前年度繰越金 (積立金)	56,219,019 円	A
払い出し準備金	5,045,306 円	B (①の合計金額)
払い出し	2,562,000 円	C (②の合計金額)
事務費	200,374 円	D
次年度繰越金額	58,501,951 円	(A + B) - (C + D)

17 社会福祉施設との連携

(1) 研修及び啓発事業等

実施時期	事業・会議名	事業概要(会議事項)	会場	参加者
4.5.24	令和4年度社会福祉法人経営改善支援研修会	・講義「社会福祉法人を取り巻く動向・諸課題を乗り越えるために」	(オンライン)	59人
4.10.6 10.13	令和4年度レクリエーション基礎研修会(高齢・障がい編)	・講義・演習Ⅰ「心のリハビリ・レクリエーションの体験的理解」 ・講義・演習Ⅱ「心のリハ・レクの実践力アップ」 ・講義・演習Ⅲ「温かおしゃべりレクリエーションの体験的理解」	県福祉会館 県南生涯学習センター	20人 15人
4.10.7	令和4年度レクリエーション基礎研修会(子ども編)	・講義・演習Ⅰ「だんだんチャレンジの体験的理解」 ・講義・演習Ⅱ「だんだんチャレンジの実践力アップ」 ・講義・演習Ⅲ「温かやりとりの体験的な理解」 ・講義・演習Ⅳ「温かやりとりの応用を追求」	県福祉会館	15人
4.11.10	令和4年度レクリエーションステップアップ研修会(高齢・障がい編)	・講義・演習Ⅰ「心のリハビリ・レクリエーションの体験的理解及び共有や活用のリーダーの役割の理解」 ・講義・演習Ⅱ「心のリハ・レクの共有と活動の進め方」 ・講義・演習Ⅲ「温かおしゃべりレクリエーションの体験的理解及び共有や活用のリーダーの役割の理解」 ・講義・演習Ⅳ「温かおしゃべりレクの活動と進め方」	県福祉会館	14人

(2) 福祉医療機構借入金利子補給費補助事業

事業名	補助金	摘要
民間社会福祉施設整備借入金利子補給費補助事業	15,600,000円	44施設

(3) 他団体への協力・連絡調整・その他

団体名	事業概要(会議事項)	会場(開催方法)	参加者
茨城県社会福祉法人経営者協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・監事監査(1回) ・総会(1回) ・正副会長会議(3回) ・理事会(2回) ・委員会(1回) ・研修会(3回) ・いばらき生活支援事業 ・第41回全国社会福祉法人経営者大会(1回) ・全国経営協ブロック拡大会議(1回) ・北関東・信越ブロック協議会会長会議(9回) ・北関東・信越ブロック協議会セミナー(1回) ・北関東・信越ブロック協議会災害担当企画委員会(3回) ・北関東・信越ブロック協議会災害担当企画委員会勉強会(1回) ・北関東・信越ブロック協議会災害担当企画委員会研修会(1回) ・北関東・信越ブロック協議会災害担当企画委員会事務局会議(1回) 	県福祉会館外	本会から延41人

団体名	事業概要(会議事項)	会場 (開催方法)	参加者
茨城県民間社会福祉事業従事者互助会	・監事監査(1回) ・理事会(3回) ・評議員会(2回、うち1回書面審議)	県福社会館外	本会から 延20人
茨城県救護施設協議会	・監事監査(1回) ・総会(1回) ・研修委員会(4回) ・職員研修会(2回) ・県との情報交換会(1回)	県福社会館外	本会から 延18人
茨城県心身障害者福祉協会	・監事監査(1回) ・総会(1回) ・理事会(3回)	県福社会館外	本会から 延5人
茨城県老人福祉施設協議会	・新春懇談会(1回)	水戸プラザ ホテル	本会から 1人
茨城県母子寡婦福祉連合会	・新年懇談会・叙勲受賞祝賀会(1回)	ホテルレイク ビュー水戸	本会から 1人
茨城県母子生活支援施設連絡協議会	・総会(1回)	ラーク・ハイツ	-

(4) 関係機関・団体との共催・後援事業(福祉施設関係)

実施時期	事業・会議名	事業概要(会議事項)	会場
4.12.1 ～12.5	ナイスハートふれあい フェスティバル2022	・障害者自身による音楽・ダンス等の文化活動の発表会(動画)、作品展示	ザ・ヒロサワ・シティ会館

(5) 茨城県民間社会福祉施設職員等退職手当支給制度事業運営状況

① 加入状況

加入施設 施設区分	加入施設 (ヶ所)	加入人員 (人)
救護施設	3	94
児童福祉施設	46	1,023
保育所	303	5,538
老人福祉施設	365	3,752
身体障害者福祉施設 ※	1	5
障害者自立支援施設	174	2,586
合計	892	12,998

※ 茨城県立点字図書館

ア 新設施設、契約時新規加入人員、廃止施設及び契約解除施設内訳

加入施設 施設区分	新設施設数	契約時新規 加入人員	廃止施設	契約解除 施設	部分契約 解除施設
救護施設	0	0	0	0	0
児童福祉施設	0	0	0	0	0
保育所	1	0	3	0	0
老人福祉施設	1	1	5	0	4
障害者自立支援施設	4	13	0	0	0
合計	6	14	8	0	4

イ 新規加入人員 1,353人(令和5年3月31日時点)

② 退職手当金支給状況

ア 支給対象	人員：1,211人	支給額：380,516,470円
イ 1年未満適用外	人員：183人	支給額：0円
ウ 部分契約解除	人員：93人	支給額：0円
エ 合計	人員：1,487人	支給額：380,516,470円

※ 参考 退職者平均加入期間 6年11ヶ月

③ 資金の運用状況

預金種別	資金額 (単位：千円)	平均利率	利子収入等	構成割合	基準とする 配分構成	変更許容 範囲
預貯金	1,508,468	—	—	21.0%	15%	± 10%
国債	3,579,186	1.42%	51,000	49.8%	60%	± 10%
地方債	2,099,825	0.91%	19,163	29.2%	25%	± 10%
合計	7,187,479	1.23%	70,163	100.0%	100%	± 10%

※ 退職手当積立金・基金の充足率は、141.8%（充足率とは、加入職員全員が退職した場合に支給できる割合を示したものです。）

(6) 福利厚生センター事業

- ① 会員数（令和4年10月1日現在）
113法人・団体（218事業所） 5,755人

② 会員交流事業

実施時期	事業・会議名	事業概要 (会議事項)	会場 (開催方法)	参加者 (助成者人数)
4. 5.28 5.29	7年に1度の盛儀「善光寺御開帳」と小 京都「小布施」	会員相互の交流を 図った。	長野県	21人
4. 6.25	福島さくらんぼ狩り&自然派ビュッフェ		福島県	30人
4. 9.10 ～11	秋の淡路島・香川県1泊2日の旅		香川県	18人
4. 10.1	桔梗信玄餅詰め放題&山梨秋の味覚・ぶ どう狩り		山梨県	31人
4. 10.29 ～30	大正ロマン漂う銀山温泉と紅葉の鳴子峡		山形県	21人
4. 11.11 ～13	秋の京都2泊3日の旅		京都府	33人
4. 11.26	ワインの夕べ		水戸京成 ホテル	51人
4. 12. 2 ～4	日本一のイルミネーション「光の街のク リスマス inハウステンボス」2泊3日		長崎県	32人
4. 12. 3 12.10	横浜で過ごすロマンティック・クリスマ ス		神奈川県	27人 25人
5. 2. 4	劇団四季ミュージカル「アナと雪の女 王」観劇		東京都	28人
5. 2.11	目黒雅叙園・百段階段と築地・浅草散策		東京都	27人
5. 2.18	シルク・ドゥ・ソレイユ「アレグリア」 観劇		東京都	30人
5. 2.25	早春の南房総 海の幸を満喫 絶品ランチ の旅		千葉県	14人

③ 地域開発メニュー

- ア 家庭常備菜の斡旋（年4回）：諒和、あまの創健
イ 丸大ハム：お中元・お歳暮

④ 加入促進個別訪問（新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止）

⑤ 会議等への参加

実施時期	事業・会議名	事業概要（会議事項）	会場 （開催方法）	参加者
4. 7. 19	福利厚生センター新任担当者研修会	・業務委託内容及び年間スケジュールについて ・委託業務の事務手続きについて	（オンライン）	本会から 1人

（7）義務教育教員免許志願者介護等体験受入調整事業

① 受入調整結果

	調整人数	終了人数	大学等数	受入施設数	
第1四半期	0人	0人	0校	0施設	
第2四半期	26人	21人	7校	17施設	
第3四半期	13人	15人	6校	13施設	
第4四半期	2人	2人	2校	32施設	
合計	41人	38人	延 15校	延 32施設	
前年同期	調整人数	154人	前年比	調整人数	73.3%減
	終了人数	37人		終了人数	2.7%増
	大学等数	延 10校		大学等数	150.0%増
	受入施設数	延 31施設		受入施設数	3.2%増
	令和4年3月31日現在			令和5年3月31日現在	

※平成10年度からの終了人数 25,892人

②会議の開催

実施時期	事業・会議名	事業概要（会議事項）	会場 （開催方法）	参加者
5. 1. 24	義務教育教員免許志願者介護等体験事務担当者会議	・令和3年度及び令和4年度介護等体験実施状況報告について ・令和元年度～令和4年度受入人数推移（市町村別、種別）について ・令和5年度義務教育教員免許志願者介護等体験事務処理要領について ・「介護等体験受入実施についてのアンケート」の実施について ・大学生に対する事前研修実施状況について ・大学等からの協議事項、要望事項等について	県福社会館	13人

18 評価機関との連携及び支援事業

本会ホームページを活用して、制度の周知や評価に関する公表や情報提供並びに、県内の評価機関との連携・支援を行った。

19 茨城県運営適正化委員会事業

（1）委員会及び委員の構成

① 運営適正化委員会委員選考委員会 構成委員 6人 (敬称略)

構成委員の所属等	氏名	属性（提供者・利用者・公益の別）
茨城キリスト教大学	池田幸也	公益
茨城県民生委員児童委員協議会	倉持嘉男	公益
茨城県老人クラブ連合会	伊藤達也	利用者
茨城県手をつなぐ育成会	永井立雄	利用者
茨城県社会福祉法人経営者協議会	前島守雅	提供者
水戸市社会福祉協議会	保立武憲	提供者

② 運営適正化委員会 構成委員 8人 (敬称略)

構成委員の所属等	氏名	属性 (提供者・利用者・公益の別)
茨城県弁護士会	秋山安夫	公益 (法律)
茨城県ひたちなか保健所	金本真也	公益 (医療)
茨城県社会福祉士会	小森弘道	公益
流通経済大学	村田典子	公益
認知症の人と家族の会茨城県支部	木下元江	利用者
茨城県精神保健福祉会連合会	兼清紀郎	利用者
茨城県老人福祉施設協議会	小林正典	提供者
茨城県心身障害者福祉協会	中山洋一	提供者

③ 運営適正化委員会 運営監視小委員会 構成委員 8人 (敬称略)

構成委員の所属等	氏名	属性 (提供者・利用者・公益の別)
茨城県弁護士会	秋山安夫	公益 (法律)
茨城県ひたちなか保健所	金本真也	公益 (医療)
茨城県社会福祉士会	小森弘道	公益
流通経済大学	村田典子	公益
認知症の人と家族の会茨城県支部	木下元江	利用者
茨城県精神保健福祉会連合会	兼清紀郎	利用者
茨城県老人福祉施設協議会	小林正典	提供者
茨城県心身障害者福祉協会	中山洋一	提供者

④ 運営適正化委員会 苦情解決小委員会 構成委員 4人 (敬称略)

構成委員の所属等	氏名	属性 (提供者・利用者・公益の別)
茨城県弁護士会	秋山安夫	公益 (法律)
茨城県ひたちなか保健所	金本真也	公益 (医療)
茨城県社会福祉士会	小森弘道	公益
流通経済大学	村田典子	公益

(2) 会議・研修会の開催

① 運営適正化委員会

実施時期	事業概要 (会議事項)	会場 (開催場所)	参加者
4. 6. 24	・令和3年度福祉サービス苦情解決事業実績について	県福祉会館	6人
4. 8. 26	・委員長、委員長代理の選出について ・各小委員会委員の指名について ・委員会の今後の主な予定について	県福祉会館	7人

② 運営適正化委員会 運営監視小委員会

実施時期	事業概要 (会議事項)	会場 (開催方法)	参加者
4. 4. 22	・新規利用者の状況について	県福祉会館	7人
4. 6. 24	・日常生活自立支援事業実施状況 (R4. 1~3) ・新規利用者及び契約解除の状況について	県福祉会館	6人
4. 8. 26	・委員長、副委員長の選出について ・新規利用者の状況について	県福祉会館	7人
4. 10. 28	・新規利用者の状況について ・日常生活自立支援事業実施状況調査について	県福祉会館	8人
4. 12. 23	・日常生活自立支援事業実施状況 (R4. 4~9) ・新規利用者の状況について ・日常生活自立支援事業実施状況調査結果について	県福祉会館	5人

実施時期	事業概要（会議事項）	会場 （開催方法）	参加者
5. 2. 24	・新規利用者の状況について ・日常生活自立支援事業実施状況調査結果について	アダストリア みとアリーナ	7人

③ 運営適正化委員会 苦情解決小委員会

実施時期	事業概要（会議事項）	会場 （開催方法）	参加者
4. 4. 22	・苦情案件について ・苦情継続案件について	県福社会館	4人
4. 6. 24	・苦情案件について ・苦情継続案件について	県福社会館	3人
4. 8. 26	・委員長、副委員長の選出について ・苦情案件について	県福社会館	4人
4. 10. 28	・苦情案件について ・苦情継続案件について	県福社会館	4人
4. 12. 23	・苦情案件について ・苦情継続案件について	県福社会館	4人
5. 2. 24	・苦情案件について ・苦情継続案件について	アダストリア みとアリーナ	3人

④ その他の会議・研修会

実施時期	事業・会議名	事業概要（会議事項）	会場 （開催方法）	参加者
4. 7. 12	運営適正化委員会事業研究協議会	・動画配信 ・情報交換会	(オンライン)	本会から 2人
4. 10. 7	関東甲信越静岡ブロック都県運営適正化委員会委員長等連絡会、相談員連絡会	・情報交換 ①国に対する日常生活自立支援事業の制度的位置づけ及び制度設計上の課題解決に向けた提案 ②苦情解決事業に係る標準処理期間の公表について ③事業所巡回訪問について ④セルフプラン利用者の苦情への対応について 等	(オンライン)	本会から 3人
4. 10. 24	運営適正化委員会事業相談員研修会	・動画配信 (10. 24～11. 14)	(オンライン)	本会から 1人
5. 2. 24	運営適正化委員会連絡会議	・運営適正化委員会の役割について ・運営適正化委員会における苦情受付・解決状況の概要について ・運営適正化委員会に寄せられる苦情について ・意見交換	アダストリア みとアリーナ	14人
5. 3. 8	福祉サービス苦情解決研修会	・講演 「福祉サービスにおける苦情解決体制の仕組みづくり」 講師：元立教大学コミュニティ福祉学部 福祉学科教授 平野 方紹 氏	(オンライン)	410 事業所

(3) 広報・啓発事業

① ポスターの配布

広報・啓発用ポスターを県内の各社会福祉施設、各市町村社協等へ随時配布した。

② パンフレットの配布

広報・啓発用パンフレットを県内の各社会福祉施設、各市町村社協等へ随時配布した。

③ 資料の配布

「第三者委員の役割と活動」を県内の各社会福祉施設、各市町村社協等へ随時配布した。

④ 広報誌への掲載等

いばらきの社会福祉 327号（令和4年9月26日発行）

いばらきの社会福祉 328号（令和5年1月25日発行）

(4) 巡回指導事業（新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止）

(5) 福祉サービス利用援助事業実施状況調査事業

県内福祉サービス利用援助事業を実施している基幹的社協に対し、事業実施状況の調査を実施した。

訪問調査 龍ヶ崎市社協・笠間市社協・潮来市社協・常陸大宮市社協・那珂市社協

行方市社協・鉾田市社協・茨城町社協・大洗町社協・城里町社協・大子町社協

書面調査 水戸市社協外43市町村社協

(6) 受理した苦情案件の概要

① 受理した苦情の件数等

受付件数（月別、受付方法別） ※「その他」は、問い合わせ・相談等、苦情に至らなかった件数

	受 付 方 法							
	来 所		書 面 ・ 電 話 等		そ の 他		計	
	苦 情	そ の 他	苦 情	そ の 他	苦 情	そ の 他	苦 情	そ の 他
4月			13	3			13	3
5月	2		4	2			6	2
6月			16	4			16	4
7月			12	5			12	5
8月			8	3		1	8	4
9月	1		12	5			13	5
10月			11	4			11	4
11月	1		13	5			14	5
12月			11	4			11	4
1月			12	3			12	3
2月			6	2			6	2
3月			8	8			8	8
合 計	4	0	126	48	0	1	130	49

種別・苦情申出人の属性

	利用者		家 族		代 理 人		職 員		そ の 他		計	
	苦 情	そ の 他	苦 情	そ の 他	苦 情	そ の 他	苦 情	そ の 他	苦 情	そ の 他	苦 情	そ の 他
高齢者	4	2	25	1			1	4	1	5	31	12
障害者	43	4	20	2			2	6	6	2	71	14
児 童			21	4			2	7		6	23	17
その他	4	4	1							2	5	6
合 計	51	10	67	7	0	0	5	17	7	15	130	49

※ 児童には、保育所を含む

② 申出の要旨、対応結果等

相手先 苦情の	区 分	苦情 受付 件数	苦 情						問 合 わ せ 等 其 他
			苦 情 解 決 の 結 果						
			相 談 助 言	紹 介 伝 達	あ っ せ ん	通 知	其 他	継 続 中	
高 齢 者	①サービス内容（職員の接遇）	18	10	8					
	②サービス内容（サービスの質や量）	4	1	3					1
	③利用料	1		1					
	④説明・情報提供	4	1	3					
	⑤被害・損害	2		2					
	⑥権利侵害	1		1					
	⑦その他	1		1					11
障 害 者	①サービス内容（職員の接遇）	46	29	17					2
	②サービス内容（サービスの質や量）	11	8	3					
	③利用料	1		1					1
	④説明・情報提供	4	2	1			1		
	⑤被害・損害	4	1	3					
	⑥権利侵害	3		3					2
	⑦その他	2		2					9
児 童 （ 保 育 含 む）	①サービス内容（職員の接遇）	11	7	4					2
	②サービス内容（サービスの質や量）	4	3	1					1
	③利用料								
	④説明・情報提供	1		1					
	⑤被害・損害	1		1					
	⑥権利侵害	3	1	1			1		
	⑦その他	3	1	2					13
そ の 他	①サービス内容（職員の接遇）	4	3				1		2
	②サービス内容（サービスの質や量）								
	③利用料								
	④説明・情報提供								
	⑤被害・損害								
	⑥権利侵害	1	1						
	⑦その他								5
合 計	①サービス内容（職員の接遇）	79	49	29			1		6
	②サービス内容（サービスの質や量）	19	12	7					2
	③利用料	2		2					1
	④説明・情報提供	9	3	5			1		
	⑤被害・損害	7	1	6					
	⑥権利侵害	8	2	5			1		2
	⑦その他	6	1	5					38
合 計		130	68	59			3		49

20 茨城わくわくセンター事業

(1) 総合情報誌「わくわくライフいばらき」発行事業

高齢者の生きがいと健康づくりに関する情報等を掲載した情報誌を年4回発行した。

発行日 6月25日、9月25日、12月25日、3月25日

発行部数 各7,000部

配布先 関係団体、公民館、病院、理美容店、わくわく事業推進サポーター等

(2) 高齢者の生きがいと健康づくりに関する事業の実施

① 高齢者向けニュースポーツ普及事業

ア ニュースポーツ推進員養成講習会の開催

実施時期	事業・会議名	事業概要（会議事項）	会場（開催方法）	参加者
4. 5. 17 ～ 6. 10	第1期ニュースポーツ推進員養成講習会	・講義「ニュースポーツの推進について」 他	堀原運動公園	18人
4. 9. 1 ～ 10. 7	第2期ニュースポーツ推進員養成講習会	・講習 オーバルボール 他 12種目	常総運動公園 他	17人

イ ニュースポーツ体験教室の開催

実施時期	事業・会議名	事業概要（会議事項）	会場（開催方法）	参加者
4. 11. 8	大子町	・ユニカールなど 4種目	大子町中央公民館	21人
4. 11. 30	稲敷市	・カーリンコンなど 3種目	江戸崎総合運動公園	64人
4. 12. 8	古河市	・オーバルボールなど 4種目	イーエスはなもも体育館	41人

ウ ニュースポーツ担当職員等体験会

実施時期	事業・会議名	事業概要（会議事項）	会場（開催方法）	参加者
4. 11. 21 12. 6 12. 16 12. 23	福祉コミュニティづくり推進のつどい	体験ブースの設置 ・バッコ ラダーゲッター モルック ボッチャ	ホテル天地閣 他	198人

エ ニュースポーツ用具の貸し出し

県・市町村名 (社会福祉協議会)	県わくわく センター	日立市	行方市	土浦市	下妻市	坂東市
貸出件数	158件	5件	19件	15件	46件	4件

② 高齢者向けeスポーツの普及推進

ア 体験会の実施

実施時期	事業・会議名	事業概要（会議事項）	会場（開催方法）	参加者
4. 5. 11	eスポーツ体験会	・講話「eスポーツを学ぼう」 ・体験会	県福祉会館	8人
4. 6. 29				14人
4. 7. 28				8人
4. 10. 25			小美玉市	17人
4. 12. 20			小美玉市	10人
5. 2. 1			五霞町	15人
5. 3. 10			土浦市	24人
5. 3. 17			潮来市	15人

イ 研修会の実施

実施時期	事業・会議名	事業概要（会議事項）	会場 (開催方法)	参加者
4. 6. 22	令和4年度市町村社会福祉協議会地域福祉・ボランティア担当者会議	・講話「eスポーツによる絆づくり～孤独・孤立がもたらす健康リスクの回避～」 ・体験会	県福社会館	40人

ウ フォローアップ会の実施

実施時期	事業・会議名	事業概要（会議事項）	会場 (開催方法)	参加者
4. 7. 28 ～5. 3. 15 (全9回)	eスポーツフォローアップ	・eスポーツを活用した交流	県福社会館	92人

③ 全国健康福祉祭選手等派遣事業

実施時期	事業・会議名	事業概要（会議事項）	会場 (開催方法)	参加者
4. 6. 1	全国健康福祉祭神奈川・横浜・川崎・相模原大会代表者事前説明会	・大会の概要について ・大会日程及び行程について ・参加選手補助について	県福社会館 (オンラインと併用)	37人
4. 10. 21	全国健康福祉祭神奈川・横浜・川崎・相模原大会結団式	・県旗授与 ・選手団紹介 ・団長あいさつ ・選手宣誓 ・選手団派遣説明会	県福社会館	116人
4. 11. 30	全国健康福祉祭神奈川・横浜・川崎・相模原大会福祉部次長表敬訪問	・第34回全国健康福祉祭神奈川・横浜・川崎・相模原大会の概要と結果について ・選手紹介	茨城県福祉部 会議室	16人

派遣期間	令和4年11月12日(土)～11月15日(火)
派遣先	横浜アリーナ 他
選手団	選手・監督 148名 事務局 9名 計 157名 (21種目 23チーム)
参加種目	スポーツ交流8種目 卓球・テニス・ソフトテニス・ソフトボール・ゲートボール・ペタンク・弓道・剣道 ふれあいスポーツ交流10種目 水泳・グラウンド・ゴルフ・オリエンテーリング・サッカー・ソフトバレーボール・なぎなた・太極拳・バウンドテニス・ダンススポーツ・サーフィン 文化交流3種目 囲碁・将棋・健康マージャン
美術展	6部門(日本画、洋画、彫刻、工芸、書及び写真)に計11点を出品

④ いばらきねんりんスポーツ大会開催事業

ア いばらきねんりんスポーツ大会

実施時期	事業・会議名	事業概要（会議事項）	会場 (開催方法)	参加者
4. 6. 9	いばらきねんりんスポーツ大会運営委員会	・第27回いばらきねんりんスポーツ大会開催要綱について ・第27回ねんりんスポーツ大会運営方法について	県福社会館	13人

開催期日	令和4年10月13日(木)
開催会場	笠松運動公園補助陸上競技場・競技場・野球場
競技種目	5種目(クロッケー、ゲートボール、ペタンク、グラウンド・ゴルフ、ワナゲ)
参加者	約1,100名(選手、審判員、事務局等)
その他	ゲートボール及びペタンク競技の優勝チーム並びにグラウンド・ゴルフの上位6名は、全国健康福祉祭えひめ大会への派遣を決定する。

イ いばらきねんりんスポーツ交流大会(全国健康福祉祭選手選考会を兼ねる)

No.	種目	機関・団体名	開催日	備考
1	卓球	茨城県卓球連盟	4.4.2	神奈川大会分
2	将棋	日本将棋連盟茨城県支部連合会	4.4.10	〃
3	ソフトテニス	茨城県シニアソフトテニス連盟	4.5.7	〃
4	囲碁	日本棋院茨城県支部連合会	4.5.8	〃
5	健康マージャン	水戸はつらつ健康マージャン会	4.5.14	〃
6	ソフトバレーボール	茨城県ソフトバレーボール連盟	4.5.15	〃
7	ペタンク	茨城県ペタンク協会	4.5.26	〃
8	水泳	茨城県水泳連盟	4.5.29	〃
9	オリエンテーリング	茨城県オリエンテーリング協会	4.5.29	〃
10	ソフトボール	茨城県ソフトボール協会	4.6.11~12	〃
11	剣道	茨城県剣道連盟	4.6.25	〃
12	太極拳	茨城県武術太極拳連盟	4.10.30	愛媛大会分
13	弓道	茨城県弓道連盟	4.12.5	〃

⑤ いばらきねんりん文化祭開催事業

ア わくわく美術展

実施期日	事業・会議名	事業概要(会議事項)	会場	参加者
4.12.15	わくわく美術展に係る会議	・審査員の役割及び開催スケジュールについて ・審査について ・展示方法について	ザ・ヒロサワ・シティ会館	14人
5.1.20	審査会	・事前説明について ・審査	ザ・ヒロサワ・シティ会館	33人

会期	令和5年2月25日(土)~3月2日(木)
会場	ザ・ヒロサワ・シティ会館 展示室・県民ギャラリー
部門	6部門(日本画、洋画、彫刻、工芸、書及び写真)
応募点数	448点(前回知事賞受賞者作品10点を含む)
入賞点数	64点
展示点数	459点(審査員作品11点を含む)
入場者	約1,571名
その他	・県知事賞11点は、全国健康福祉祭えひめ大会への出品を決定する。 ・表彰式及びギャラリートークの開催(令和5年2月25日(土))

イ ぼく☆わたしのおじいちゃん☆おばあちゃんの絵コンクール

実施時期	事業・会議名	事業概要(会議事項)	会場(開催方法)	参加者
4.10.18	一次審査	・一次審査の手順について ・一次審査	県福祉会館	3人
4.11.22	本審査会	・審査員長の指名 ・コンクールの応募状況等について ・一次審査の結果について ・本審査		8人

会 期	令和5年2月25日(土)～3月2日(木)
会 場	ザ・ヒロサワ・シティ会館 展示室
応募点数	1,022点
入賞及び展示	38点
入場者	約1,571名

⑥ 元気シニア地域貢献事業

実施時期	事業・会議名	事業概要(会議事項)	会場 (開催方法)	参加者
4. 9. 28	シニアマスター・スキルアップ講習会	講義 「今、この瞬間が一番若い! : 人間の幸せと新「役」聖書から考える」 講師 茨城県生涯学習・社会教育研究会会長 長谷川幸介氏 茨城シニアマスター活動状況紹介及び実演披露 ①水戸相撲甚句会 ②次世代に伝えたい朗読と紙芝居のオリーブ	県福祉会館	50人 Web併用

登録分野	登録件数	紹介件数
健康・スポーツ分野	62 個人・団体	157 件
文化・芸術分野	112 個人・団体	
趣味・教養分野	92 個人・団体	
介護・地域活動分野	10 個人・団体	
子育て分野	6 個人・団体	
その他の分野	4 個人・団体	

⑦ サポーター会員交流事業

5月	咲き誇る20万本のツツジ園散策と大人気御用邸チーズケーキ&南ヶ丘牧場
6月	赤い宝石食べ放題「福島さくらんぼ狩り」と絶景の「磐梯吾妻スカイラインドライブ」
9月	巾着田曼珠沙華と秩父駅周辺散策の旅
11月	写実絵画の殿堂「ホキ美術館」をたずねる旅
11月	陸の松島「太平山謙信平の紅葉」と巨大地下空間「大谷資料館」見学の旅
1月	初詣と言えばココ! 「成田山新勝寺」& 旬のいちご狩り体験
3月	桜と菜の花・ピンクとイエローの競演「権現堂桜堤」、小江戸川越見学の旅

2.1 全国・関東ブロック会議等への参加

(1) 本県当番県

実施時期	事業・会議名	事業概要(会議事項)	会場 (開催方法)	参加者
5. 2. 16	令和4年度関東ブロック都県・指定都市社会福祉協議会生活福祉資金担当職員研究協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・開会・オリエンテーション ・協議題①「特例貸付における償還免除について」 ・協議題②「特例貸付における償還猶予について」 ・協議題③「特例貸付における少額返済について」 ・協議題④「特例貸付における償還状況について」 ・終了 	(オンライン)	本会から 4人

(2) 会議等への参加

実施時期	事業・会議名	事業概要（会議事項）	会場 (開催方法)	参加者
4. 4. 19 ～ 4. 20	福祉人材情報システム研修会	・福祉人材センター・バンクにおける無料職業紹介事業に使用する福祉人材情報システム(COOL システム)に関する基本的な知識や操作方法を学ぶ	(オンライン) (録画配信)	2人
4. 5. 13	都道府県・指定都市社協 地域福祉推進担当部・課・所長会議	・説明「全社協 令和4年度地域福祉・ボランティア関連の重点事項」 ・問題提起「令和4年度地域福祉推進担当の重点課題」 ・情報交換①「地域共生社会の実現に向けた社協事業・活動の活性化に向けて」 ・情報交換②「不祥事の再発防止・経営基盤の強化に向けて」	(オンライン)	本会から 4人
4. 5. 17	都道府県・指定都市社協 ボランティア・市民活動センター所長・担当者会議	・説明「全社協 全国ボランティア・市民活動センター事業について」 ・問題提起「今後の都道府県指定都市社協ボランティアセンターのあり方について」 長野県社協・まちづくりボランティアセンター 愛媛県社協・愛媛県ボランティア・市民活動センター ・情報交換「市区町村社協ボランティアセンターの現状と支援課題について」 ・情報交換「都道府県・指定都市社協ボランティアセンターのあり方について」	(オンライン)	本会から 3人
4. 5. 24	都道府県・指定都市社協 福祉教育担当者連絡会議	・説明「全社協 福祉教育推進に向けた取り組みについて」 ・実践報告①「福祉教育推進における県域ネットワーク構築の歩み」 ・実践報告②「複数年のモデル事業を通じて市町村社協に伴走」 ・グループ討議①「都道府県・指定都市におけるプラットフォーム設立状況等について」 ・グループ討議「福祉教育における課題と今後の福祉教育推進に向けて必要なことについて」	(オンライン)	本会から 4人
4. 5. 27	令和4年度全国健康福祉祭担当係長会議	・ねんりんピックかながわ2022について	(オンライン)	本会から 2人
4. 5. 31	都道府県・指定都市社協災害ボランティア等に関する情報共有会議	・情報交換「コロナ禍における災害 VC 運営について」 ・情報交換「今後の災害VCの運営体制について」 ・情報交換「災害救助費の活用について」 ・情報交換「その他」	(オンライン)	本会から 3人

実施時期	事業・会議名	事業概要（会議事項）	会場 (開催方法)	参加者
4. 6. 6	北関東三県地域福祉・ボランティア担当者会議	<ul style="list-style-type: none"> 全体協議 市町村社協の課題への対応について 地域福祉関係業務の協議 重層的支援体制整備事業における県社協の取り組みについて ボランティア関係業務の協議 ボランティア関係研修会の実施内容について 	(オンライン)	本会から 4人
4. 6. 13	第62回関東ブロック保育研究大会「大会委員会」	<ul style="list-style-type: none"> 第61回関東ブロック保育研究大会(長野大会)について 第62回関東ブロック保育研究大会の運営について 	新宿区立牛込筆筒ホール (東京都)	本会から 1人
4. 6. 14	福祉人材センター業務・法令研修会	<ul style="list-style-type: none"> 説明 「福祉人材確保をめぐる動向と福祉人材センターの概要について」 「福祉人材センター事業と個人情報保護について」 講義 「無料職業紹介の役割と業務に必要な労働法規等関係法令の理解」 	(オンライン)	4人
4. 7. 1 ～ 7. 31	第62回関東ブロック保育研究大会	<ul style="list-style-type: none"> 全体会オンデマンド配信 分科会意見発表オンデマンド配信 分科会討議 	(オンデマンド配信)	
4. 7. 4	第1回全国明るい長寿社会づくり推進機構連絡協議会総会	<ul style="list-style-type: none"> 令和3年度事業報告(案)について 令和3年度収支決算報告(案)について 今後の推進機構の取り組みについての見直しについて 	日本青年館 ホテル (東京都)	本会から 1人
4. 7. 7 ～ 7. 8	関東ブロック郡市区町村社協職員合同研究協議会	<p>基調講演 「ウィズコロナ、地域共生社会の時代、社協に期待されること、社協だから出できること、社協にしかできないこと」</p> <p>記念講演 「注文をまちがえる料理店のこれまでとこれから」</p> <p>分科会1～6</p>	ホテルグリーン タワー幕張	本会から 2人
4. 7. 11 7. 19 7. 20	マッチング機能強化研修	<ul style="list-style-type: none"> 事前録画配信「福祉人材確保をめぐる動向と福祉人材センターにおけるマッチングの現状と課題」 「福祉人材センター事業と個人情報保護について」 実践発表「マーケティング及び多様な手法による求職者へのアプローチ」 「栃木県福祉人材・研修センターにおける取組」 グループディスカッション 特別講義「介護の魅力発信プロジェクト『KaiGo PRiDE』—介護のブランディングに向けた取り組み—」 	(録画配信)・ 全社協(東京都)	1人

実施時期	事業・会議名	事業概要（会議事項）	会場 (開催方法)	参加者
4. 7. 27	関東甲信越静ブロック都県・指定都市社会福祉協議会総務部課長会議	<ul style="list-style-type: none"> ・情勢報告 ・各都県提出の協議題に係る情報交換 	(オンライン)	本会から 3人
4. 8. 2	春季関ブロ都県・指定都市社協組織・ボランティア業務担当部・課長会議	<ul style="list-style-type: none"> ・各都県市社協における支援方針等について ・市区町村社協職員の資質向上等に対する取り組みについて ・全体会「包括的支援体制の構築」(全社協) 	(オンライン)	本会から 2人
4. 8. 3	全国福祉教育推進員研修	<ul style="list-style-type: none"> ・演習「福祉教育プログラムを磨く」 ・演習「福祉教育プラットフォームを考える」 	(オンライン)	本会から 1人
4. 8. 30	関東甲信越静ブロック都県・指定都市社会福祉協議会常務理事・事務局長会議	<ul style="list-style-type: none"> ・情勢報告 ・各都県提出の協議題に係る情報交換 	(オンライン)	本会から 1人
4. 9. 1	ねんりんピックかながわ 2022 現地説明会	<ul style="list-style-type: none"> ・総合開会式・総合閉会式会場における現地説明 	横浜アリーナ他 (神奈川県)	本会から 1人
4. 9. 16 9. 22	福祉人材センター全国連絡会議	<ul style="list-style-type: none"> ・行政説明「福祉人材確保対策の動向について」 ・行政説明「保育人材確保対策の動向について」 ・基調説明「福祉人材センター事業の現状と今後の課題について」 ・インタビュー「天竜厚生会における人材確保の現状と福祉人材センターへの期待」 ・グループディスカッション 	(録画配信) (ライブ配信)	1人
4. 9. 30 ～ 10. 1	令和4年度地域創生実践塾 in 富山県	<ul style="list-style-type: none"> ・講義「e スポーツの概要と富山県内の状況(導入講義)」 ・講義「e スポーツによる介護予防とコミュニティづくり」 ・講義「e スポーツの介護分野への応用の研究」 ・講義「産学連携による地域活性化の取り組みと地域包括ケアの実現に向けたe スポーツの活用事例」 ・e スポーツ体験会 ・e スポーツの活用行事等の検討 	富山県民会館 (富山県)	本会から 1人
4. 10. 24	社協の災害支援体制と災害支援活動の強化に関する会議	<ul style="list-style-type: none"> ・情報交換「都道府県社協での災害 VC 運営シミュレーション時の被害想定について」 ・情報交換「都道府県社協における平時の内部の訓練状況」 ・情報交換「都道府県社協としてどこまで DWAT(災害福祉支援ネットワーク)に関わるのか。」 ・情報交換「技術系(重機等)NPO との協定及び連携方法について」 ・情報交換「国の災害救助費における旅費について」 ・情報交換「ICTの活用について」 	(オンライン)	本会から 4人

実施時期	事業・会議名	事業概要（会議事項）	会場 (開催方法)	参加者
4. 11. 9	関東ブロック福祉人材センター・バンク連絡協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・全社協情勢説明 ・各都県提出の協議題に係る情報交換 	(オンライン)	2人
4. 11. 18	ボランティア全国フォーラム2022	<ul style="list-style-type: none"> ・キーコンセプトスピーチ「変化するボランティア活動とこれからの市民活動」 ・オープンディスカッション(第1、2部) 	(オンライン)	本会から 1人
4. 11. 22	多様な就労促進連絡会議	<ul style="list-style-type: none"> ・レポート「介護助手の導入と効果について」 ・シンポジウム「介護助手等普及推進員の活動の現状と今後の展開について」 	(オンライン)	1人
4. 12. 9	関東ブロック民間社会福祉従事者共済制度情報連絡会	<ul style="list-style-type: none"> ・研修「福祉医療機構の手続きのオンライン化について」 ・事前提出議題に基づく協議 	グランディエールブクトーカイ(静岡県)	本会から 1人
4. 12. 16	福祉人材センター・バンク基幹職員会議	<ul style="list-style-type: none"> ・基調説明 ・実践発表 「人材の裾野を広げる「ちょこっと就労」(短時間労働事業)の推薦について 「SNSを活用した情報発信及び求職者とのコミュニケーションについて」 ・グループディスカッション ・講義「福祉の仕事とは～定着支援・ミスマッチ防止のために求職者へ伝えるべきこと」 	(オンライン)	1人
5. 1. 11	関東ブロックブロック別マッチング機能強化研修	<ul style="list-style-type: none"> ・講義「福祉職の就職相談対応の考え方と手法」 	(オンライン)	3人
5. 1. 18 ～ 1. 19	「災害ボランティアセンターマネジメント研修会」モデル研修	<p>講義</p> <ul style="list-style-type: none"> ①災害ボランティアセンターのありかた ②運営マネジメント1 <p>演習</p> <ul style="list-style-type: none"> ①災害ボランティアセンター設置判断 <p>講義</p> <ul style="list-style-type: none"> ③運営マネジメント2 ④NPO当との連携 <p>演習</p> <ul style="list-style-type: none"> ②災害ボランティアセンターの機能拡充 	全社協	本会から 1人
5. 2. 14	令和4年度全国明るい長寿社会づくり推進機構連絡協議会関東甲信越ブロック会議	<ul style="list-style-type: none"> ・協議1 美術展に係る協議事項 ・協議2 ねんりんピック選手団派遣全般に係る協議事項 ・協議3 ねんりんピック愛顔のえひめ2023に係る協議事項 ・協議4 ねんりんピックかながわ2022に係る協議事項 ・協議5 全推連の今後の取り組みの方向(素案)「事業展開の方向の内容」について ・協議6 全推連の今後の取り組みの方向(素案)「重点取り組みの内容」について ・協議7 令和5年度予算策定に向けて「令和5年度予算の方針の内容」について 	(オンライン)	本会から 1人

実施時期	事業・会議名	事業概要（会議事項）	会場 （開催方法）	参加者
5. 2. 28	全国災害ボランティアセンター担当者会議	<ul style="list-style-type: none"> ・情報交換「災害VCの運営について」 ・情報交換「災害VC運営者研修、マネジメント研修の実施に向けて」 ・情報交換「地域協働型災害VCへの取組と課題について」 	（オンライン）	本会から 1人
5. 3. 9	市区町村社協介護サービス経営研究会第4回オンラインサロン	<ul style="list-style-type: none"> ・行政説明「介護保険制度をめぐる動向と見直しのポイント」 ・講義「介護保険制度の見直しを踏まえた今後の在宅ケアの展望」 ・情報交換 	（オンライン）	本会から 1人
5. 3. 9	第2回推進機構実施事業テーマ別会議	テーマ「eスポーツを巡る高齢者の状況と推進機構事業への可能性」	（オンライン）	本会から 3人
5. 3. 22	第3回推進機構実施事業テーマ別会議	テーマ「シニアに効くコピー、デザインを学んでチラシ、ホームページ等を再確認しよう」	（オンライン）	本会から 2人
5. 3. 16	社会福祉協議会活動全国会議	<p>オンデマンド動画配信形式</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行政説明「地域共生社会の実現に向けた社協への期待」 ・行政説明「「孤独・孤立対策での社協への期待」 ・基調講義「「新しい生活困難層」への対応と社協への期待」 ・基調説明「法制化40周年を迎えた社協事業・活動の展開」 <p>ライブ配信</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全体会「法制化40周年を迎えた市町村社協の事業・活動の展望」 ・パネルディスカッション「法制化40周年を迎えた市町村社協がいかに生活困窮者支援に取り組むか」 	（オンライン）	本会から 2人
5. 3. 17	秋季関東ブロ都県・指定都市社協組織・ボランティア業務担当者研究協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・ブロック派遣に関する成果及び課題 ・行政・社協・支援活動組織等との連携 ・基幹職員等の養成及び資質向上への支援 ・災害VC運営のICT化における対応 	（オンライン）	本会から 2人

2.2 茨城県災害福祉支援ネットワーク事業

(1) 茨城県災害福祉支援ネットワーク事業（会議等への参加）

実施時期	事業・会議名	事業概要（会議事項）	会場 （開催方法）	参加者
5. 2. 2	災害福祉支援ネットワーク中央センターブロック（圏域）会議	<ul style="list-style-type: none"> ・報告①「近年のDWAT派遣実績に見る初動・実働のポイントと、平時の準備」 ・報告②「実践事例から何を学び、何を教訓とするか/平時における各種準備の取組と残された課題」 ・グループでの意見交換 	TKP 赤坂二丁目カンファレンスセンター（東京都）	本会から 1人
5. 3. 31	茨城県災害福祉支援ネットワーク会議	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度活動報告について ・令和5年度活動計画（案）について 	（書面審査）	

(2) 茨城県災害派遣福祉チーム員の募集及び研修等

実施時期	事業・会議名	事業概要（会議事項）	会場 （開催方法）	参加者
4. 7. 23	茨城県・筑西市 避難力強化訓練	・住民避難訓練・防災講習会 ・避難行動要支援者への避難支援訓練 ・情報伝達訓練 ・避難所開設・運営訓練	筑西市立下館 南中学校 筑西市立下館 北中学校	5人 6人
4. 8. 24	茨城県災害派遣 福祉チームチ ームリーダー養成 研修	・研修Ⅰ「DWATのリーダー・サブリーダーの役割に ついて」 ・研修Ⅱ「ぐんまDWATの活動事例及びチーム活動の 進め方について」 ・研修Ⅲ「リーダー・サブリーダーに求められるも の」	アダストリア みとアリーナ	11人
4. 12. 7 4. 12. 8 4. 12. 13 4. 12. 14	茨城県災害派遣 福祉チーム員登 録研修	【1日目】 ・研修Ⅰ「災害派遣福祉チームについての基本的事項」 ・研修Ⅱ「避難所における公衆衛生活動について」 ・研修Ⅲ「避難所における福祉ニーズを考える」 ・研修Ⅳ「災害派遣福祉チーム（DWAT）の活動」 【2日目】 ・研修Ⅴ「被災地における福地支援の基本」 ・研修Ⅵ「災害時の要配慮者支援について」 ・研修Ⅶ「災害時の運営支援者の姿勢」	【1日目】 ザ・ヒロサワ・ シティ会館 【2日目】 県青少年会館	15人 7人 13人 8人

(3) 茨城県災害派遣福祉チーム員の登録

チーム員登録者数：110人（令和2年度・3年度・4年度）

2.3 施設等職員緊急補充事業

新型コロナウイルス感染症の発生により、職員が不足する高齢者施設、障害者施設等の社会福祉施設に対し、他の法人施設からの応援職員の派遣について、各団体及び施設等との連絡調整並びに登録関係の調整等を行った。また、1施設に対し、2名の看護師を派遣した。

(1) 感染症発生時における派遣職員の登録状況等

① 派遣職員の登録状況

- ・高齢者関係施設：130人（県老健協58人、県老施協72人）
- ・障害関係施設：50人（県心身協50人）

② 派遣職員に関する経費負担

- ・応援派遣登録者の傷害保険加入

(2) 感染症発生時における派遣職員に関する研修会の開催

茨城県感染症対策課主催で、レッドゾーンへの施設職員派遣に係る研修会（保健所単位での開催）を、各保健所単位で実施された。

2.4 災害ボランティアセンターへの応援職員の派遣

「関東甲信越静岡ブロック都県市指定都市社会福祉協議会災害時の相互支援に関する協定」に基づき、令和4年台風第15号により被災した静岡市社協へ下記のとおり職員を派遣し、災害ボランティアセンターの運営を支援した。

派遣期間	本会からの 派遣者数	市町村社協からの 派遣者数	派遣者数計
4. 10. 6 ～ 10. 10	2人	3人	5人
4. 10. 21 ～ 10. 25	1人	4人	5人
4. 10. 30 ～ 11. 3	1人	2人	3人
4. 11. 11 ～ 11. 15	1人	3人	4人